

# 教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和3年度実績)

令和4年12月

富田林市教育委員会

～ はじめに ～

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、『全ての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならない』と規定されました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した令和3年度事業の内、主な事業を対象に点検・評価を行った結果をまとめたものです。

本市教育委員会では、今回の点検・評価の結果について、市議会に提出及び市民の皆様に公表することにより、今後の教育行政の推進、及び事務改善に活かすよう努めてまいります。

富田林市教育委員会

### **地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）**

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 《 目 次 》

## 1. 教育委員会の活動概況

(1)教育委員会委員名簿	1
(2)教育委員会会議	1
(3)その他の主な会議・研修・参加行事等	2～4

## 2. 教育に関する事務の点検・評価

(1)点検・評価の手法	4
(2)教育に関する事務の点検・評価シート	5～43
教育総務課	5～6
教育指導室	7～17
学校給食課	18～21
生涯学習課	22～28
文化財課	29～35
公民館	36～38
図書館	39～43
(3)点検・評価 未実施事業	43

## 3. 学識経験者等の意見

## 4. 資料編

51～67

## 【1. 教育委員会の活動概況】

### (1)教育委員会委員名簿

(令和4年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	山 口 道 彦	令和3年12月7日～令和6年12月6日
教育長職務代理者	水 本 哲 也	令和1年10月1日～令和5年9月30日
委 員	山 元 直 美	令和2年10月1日～令和6年9月30日
委 員	勝 山 健 一	平成30年10月1日～令和4年9月30日
委 員	南 栄 子	令和3年10月1日～令和7年9月30日

### (2)教育委員会会議

区 分	日 程	付 議 案 件 等
4月定例会	令和3年4月22日	令和3年度の夏季休業日の変更及び創立記念日における授業の実施について(他3件)
5月定例会	令和3年5月27日	令和2年度中学生チャレンジテスト(1・2年生)の調査結果について(他8件)
6月定例会	令和3年6月24日	富田林市社会教育委員の委嘱・任命について(他4件)
7月定例会	令和3年7月29日	令和4年度使用 教科用図書採択について(他4件)
8月定例会	令和3年8月25日	富田林市余裕教室有効活用検討委員会委員の委嘱・任命について(他3件)
9月定例会	令和3年9月29日	令和3年度全国学力・学習状況調査結果の公表について(他7件)
10月定例会	令和3年10月27日	令和3年度市表彰(教育委員会関係)について(他2件)
11月定例会	令和3年11月25日	教育に関する事務の点検・評価報告書(案)について(他6件)
12月定例会	令和3年12月23日	令和4年成人式の開催について(他5件)
1月定例会	令和4年1月27日	令和4年度全国学力・学習状況調査について(他2件)
2月定例会	令和4年2月16日	富田林市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について(他5件)
3月定例会	令和4年3月24日	富田林市教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則の制定について(他5件)

## (3)その他の主な会議・研修・参加行事等

コロナ禍により中止事業等多数

開催月	行事・会議名
令和3年4月	令和3年度富田林市教育方針説明会
	市立幼稚園入園式・市立小学校入学式・市立中学校入学式
	第47回富田林市長杯争奪少年軟式野球大会開会式（中止）
	大阪府都市教育長協議会総会・定例会
	富田林市少年スポーツ連盟総会
	富田林市体育協会総会
	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	富田林市レクリエーション協会総会
	近畿都市教育長協議会定期総会（中止）
	富田林市スポーツ推進委員協議会総会
	富田林市野外活動協会総会
富田林市総合教育会議	
令和3年5月	富田林市長杯少年硬式野球大会閉会式(中止)
	若者会議委員辞令交付式
	第69回富田林市民体育大会開会式(中止)
	富田林市こども会育成連絡協議会総会
	東奥谷家住宅調査報告会
	学校教育田(復興米)田植え 藤沢台小学校
	中学校給食会理事会(書面開催)
	小学校給食会理事会(書面開催)
	大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会（中止）
	富田林市青少年指導員連絡協議会総会(中止)
全国都市教育長協議会総会（中止）	
令和3年6月	学校園安全確保の日
	川西小学校子ども食堂視察
	人権協議会総会
	パラリンピックトーチセレモニー
令和3年7月	市立幼稚園タウンミーティング
	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	大阪府都市教育長協議会定例会
	就学相談推進委員会

開催月	行事・会議名
令和3年7月	富田林市奨学金審査委員会
	富田林市立学校給食センター運営委員会(書面開催)
	富田林市立公民館運営審議会
	富田林市立図書館協議会
	富田林市文化団体協議会臨時会
	富田林市文化振興基金審査委員会
	大阪府都市教育長協議会夏季研修
	伝統的建造物群保存審議会
	新堂廃寺等整備委員会
	富田林市社会教育委員会会議
令和3年8月	平和を考える戦争展視察
	大阪府都市教育長協議会夏季研修
	南河内地区教育長協議会研修(中止)
令和3年9月	市町村会教育委員会オンライン協議会
	若者会議「施策提案」
	富田林市立中学校体育大会
	表彰審査委員会
令和3年10月	エコールロゼ内幼稚園展示会視察
	富田林市立各幼稚園運動会
	市民文化祭美術作品展視察
	大阪府都市教育長協議会定例会
	第71回市民文化祭茶華道大会
	きらめき創造館運営協議会
令和3年11月	杉多すだれ博物館視察
	公民館まつり
	MEET富田林コンクール表彰式
	第71回富田林市民文化祭
	第71回市民文化祭郷土文化大会
令和3年12月	部落解放富田林教育研究集会
	第二中学校クラブ視察
	文化財保護審議会

開催月	行事・会議名
令和3年12月	大阪企業人権協議会40周年記念式典
令和4年1月	東奥谷家住宅調査報告会
	成人式
	大阪府市町村教育委員会研修会
	伝統的建造物群保存審議会
	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	読書感想文コンクール(中止)
令和4年2月	文化財保存活用地域計画策定委員会
	新成人と語ろう
	富田林市立図書館協議会
	文化財保護審議会
	富田林市公民館運営審議会
	南河内地区市町村教育連絡協議会
	子ども・若者育成支援業務選定委員会
	中学校生徒会長との交流
令和4年3月	川柳コンテスト表彰式
	市立幼稚園卒園式・市立小学校卒業式・市立中学校卒業式

## 【2. 教育に関する事務の点検・評価】

### (1) 点検・評価の手法

「教育に関する事務の点検・評価報告書」の作成にあたっては、「総合ビジョン」、「総合基本計画」に基づき、教育委員会各所管課で実施している事務事業のうち、主要な事務事業を抜粋し、「教育に関する事務の点検・評価シート」にて検証を行い、作成しました。

また、「教育に関する事務の点検・評価シート」では、総合基本計画での施策体系を示し、各事務事業についての目的、概要、該当年度の主な実施内容を記載したうえで「点検・評価」を行い、「点検・評価」から抽出された課題等についても考察し、その対応策等、今後の方向性を示しております。

さらに、教育に関し学識経験を有する者の知見を因るため、二人の学識経験者と各事業における意見交換を実施し、所見をいただき、本報告書を取りまとめました。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育総務課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策3	学校園における教育の充実

事務事業	小学校施設改修事業・中学校施設改修事業・幼稚園施設改修事業
事業目的	学校園施設は、子どもたちの学習・生活の場であり、安全かつ安心な施設環境を確保することが重要であるため、経年劣化による施設の老朽化改修、電気・給排水設備等改修を行い、教育環境の改善を図る。
事業概要	学校園施設の改修を行い、安全かつ安心な教育環境の確保を図る。
令和3年度の主な実施内容	<p>久野喜台小学校・第三中学校・明治池中学校の校舎、および向陽台小学校・藤陽中学校の体育館、富田林幼稚園の園舎において、老朽化した屋根屋上防水改修を実施し、久野喜台小学校校舎では、併せて、外壁改修等を実施。</p> <p>彼方小学校の普通教室・支援教室の床改修を実施。</p> <p>藤沢台小学校旧学童クラブのトイレ改修を実施。</p> <p>新堂小学校運動場の防球フェンス改修を実施。</p> <p>小学校8校・中学校16校の消防・防火設備改修設計業務を実施。</p> <p><b>【学校園施設改修工事写真】</b></p> <p>久野喜台小学校外壁・屋上防水改修工事</p>   <p>第三中学校屋上防水改修工事</p>  <p>向陽台小学校体育館屋根防水改修工事</p> 



	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>彼方小学校普通・支援教室床改修工事</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>新堂小学校防球フェンス改修工事</p>  </div> </div>
<p>点検・評価</p>	<p>本年度は、富田林市学校教育施設長寿命化計画で実施した老朽化状況調査において、早期の対応が必要である、もしくは広範囲に劣化と判断された学校園施設について、安全性の確保を最優先に校舎・園舎・屋内運動場の屋根屋上防水改修、外壁改修等を実施することができた。また、屋上防水改修時に外壁改修等も行うことで、重複する仮設費等の削減につなげることができた。</p> <p>内装改修については、普通教室・支援教室の床改修、トイレ改修を実施し、機能回復を図ることができた。また、外構整備については学校周辺対策として運動場の防球フェンス改修を実施した。</p> <p>小学校8校・中学校16校の消防・防火設備改修設計業務を実施し、早期の改修工事実施に備えることができた。</p>
<p>課題</p>	<p>富田林市学校教育施設長寿命化計画において、早期の対応が必要である、もしくは広範囲に劣化と判断された学校園施設について、現在、安全性の確保を最優先に屋根屋上防水改修、外壁改修等を実施しているため、内装改修、電気・給排水設備等の改修については先送りとなっている。</p> <p>また、災害時に避難所として使用される体育館の安全性を担保するため、平成28年度より窓ガラス飛散防止対策・天井材や照明器具等の設備機器の落下防止等といった非構造部材の耐震化工事を進め、令和2年度に完了している。今後は普通教室棟等の非構造部材(天井、ガラス、照明器具)の耐震化対策について、学校教育施設の長寿命化改修を実施する際に、併せて検討する必要がある。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>先送りとなっている内装改修、電気・給排水設備等の改修については、普通教室棟等の非構造部材(天井、ガラス、照明器具)の耐震化対策と共に、国の学校施設環境改善交付金等を積極的に活用することで財源の確保に努めながら、今後、学校教育施設の長寿命化改修を実施する際に、併せて検討する。</p>

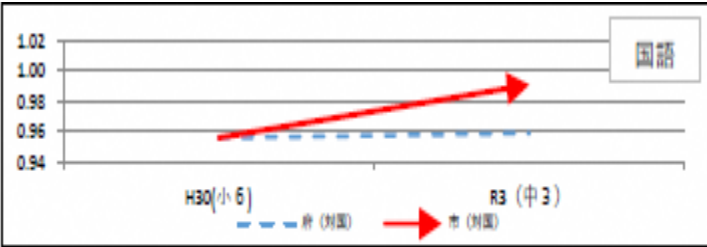
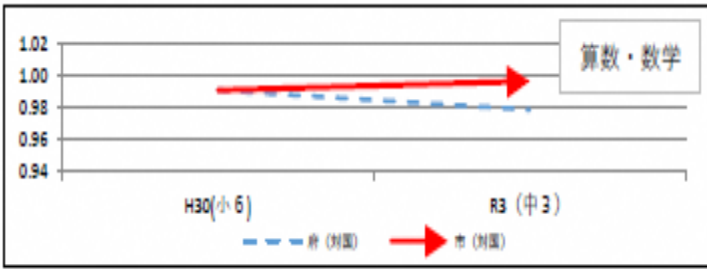
## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	きめ細かな指導推進事業
事業目的	少人数編制による学級や授業の実施により、「個に応じたきめ細かな指導」を実現し、子どもたちの学力向上・規範意識の確立・豊かな心を育む。
事業概要	小学校6年生で少人数編制(35人以下)による「少人数学級指導」を実施し、中学校への円滑な接続を図る。また、中学校3年生において、少人数編制(35人以下)あるいは、学校の実情に応じた「少人数学級指導」を実施する。
令和3年度の主な実施内容	すべての学校で、小学校6年生及び中学校3年生において 35 人以下の学級編制を行えるよう事業を実施した。市費による加配教員を小学校に4名、中学校に8名配置することで、例えば 40 人の学年であれば、20 人の2学級編制にするなど、1学級の人数が36人以上になることのないよう学級編制を行った。
点検・評価	<p>本事業では、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境づくりや、学力向上・授業改善・規範意識の確立・豊かな心の育成などをねらいとして、少人数による学級編制や少人数指導を実施している。</p> <p>平成21年度から令和3年度までの中学校全国学力・学習状況調査における対全国比の推移を見てみると、近年、小中学校ともに上昇傾向にあり、特に、中学校においては、その傾向が顕著である。これは、本事業による加配が、教科指導における少人数指導の充実に活用されていることが要因の一つであると考えている。</p> <p>【全国学力・学習状況調査における対全国比の経年変化（府・市）】</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">小学校 国語</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">小学校 算数</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">中学校 国語</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">中学校 数学</p> </div> </div>

<p>点検・評価</p>	<p>また、小中接続の起点となる小学校 6 年生で35人以下の学級編制を実施することが中学校生活のより良いスタートにつながり、中学校においても継続してきめ細かな指導を行っていることで、大阪府と比較して、同一児童生徒の伸びにつながっていると考えられる。</p> <p>【全国学力・学習状況調査における対全国比の同一集団経年変化（府・市）】</p>  <table border="1" data-bbox="574 683 1236 851"> <thead> <tr> <th>平均正答率(%)</th> <th>富田林市</th> <th>大阪府</th> <th>全国公立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●H30</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>◆R3</td> <td>64</td> <td>62</td> <td>64.6</td> </tr> </tbody> </table>  <table border="1" data-bbox="574 1142 1236 1310"> <thead> <tr> <th>平均正答率(%)</th> <th>富田林市</th> <th>大阪府</th> <th>全国公立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●H30</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>57.5</td> </tr> <tr> <td>◆R3</td> <td>57</td> <td>56</td> <td>57.2</td> </tr> </tbody> </table>	平均正答率(%)	富田林市	大阪府	全国公立	●H30	60	60	62.7	◆R3	64	62	64.6	平均正答率(%)	富田林市	大阪府	全国公立	●H30	57	57	57.5	◆R3	57	56	57.2
平均正答率(%)	富田林市	大阪府	全国公立																						
●H30	60	60	62.7																						
◆R3	64	62	64.6																						
平均正答率(%)	富田林市	大阪府	全国公立																						
●H30	57	57	57.5																						
◆R3	57	56	57.2																						
<p>課題</p>	<p>現在、国の方針として個別最適な学習が求められる中において、小学校6年生以外にもきめ細かな指導が実現できるよう、人材確保が重要である。また、小中連携の視点による取組みにも重点を置き、事業を実施する必要がある。</p>																								
<p>今後の方向性</p>	<p>引き続き、少人数編制による「個に応じたきめ細かな指導」の充実を図るため、小中一貫教育の観点からの事業活用を検討し、より良い方策や制度の在り方について研究を進めていく。</p>																								

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策3	学校園における教育の充実

事務事業	生徒指導事業
事業目的	児童生徒及び保護者等に対する支援や学校への訪問相談等の支援を行うことで、生徒指導上の課題の未然防止を図る。
事業概要	児童生徒及び保護者等に対する教育相談の実施や市内小中学校の不登校生を対象とした適応指導教室事業(校内適応指導教室を含む)の実施、大学生等のボランティアを派遣しての学習支援等を実施する。
令和3年度の主な実施内容	<p>○生徒指導上の諸課題に対する未然防止・予防・課題解決の観点に立ち、それぞれの段階に合わせた支援の充実に努めている。</p> <p>【未然防止・予防】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールソーシャルワーカー(SSW)を重点3小学校に3名配置。</li> <li>・各小中学校支援のためにSSWや学習サポーターの派遣を行い、府のスクールカウンセラーも活用し、児童生徒支援、学校支援を充実。</li> </ul> <p>【課題解決】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導上の課題に対応するため、教育相談員、適応指導教室講師等を配置(教育相談員1名、適応指導教室講師を3名に増員)し、市内不登校児童生徒を対象とした適応指導教室において、学習支援・体験活動・教育相談等を実施している。また、校内適応指導教室における不登校児童生徒の別室登校受け入れも実施している。</li> <li>・不登校支援としてタブレット端末を利用した授業配信や学習教材の配信を進めている。</li> <li>・児童生徒及び保護者等に対する教育相談事業の実施(相談件数61件)。</li> <li>・教育カウンセラー(校長OB)や専門家人材を含めた学校支援チームの派遣によるケース会議の実施。</li> </ul>
点検・評価	上記取組みにより、児童生徒が安心して登校できる環境づくりが推進されている。課題解決に係る取組みの充実は図られているが、数値としての成果は見えにくい。また、未然防止・予防の観点から挙げている施策についても、課題解決としての活用にシフトしており、施策運用方法の検証とさらなる支援の充実が必要である。
課題	虐待や貧困等の子どもを取り巻く環境に起因する生徒指導上の課題解決に向けた具体的な取組みがさらに必要となっている。また、それらの環境に起因する不登校児童生徒への支援についても、幅広く居場所を提供できる具体的な取組みを進めることが重要である。
今後の方向性	虐待や貧困等の子どもを取り巻く環境に起因する課題の解決に向けて、SSWを含めて構成した学校支援チームの活用を充実させるとともに、関係機関との連携強化に努めていく。また、不登校については、校内適応指導教室の有効活用やICTの活用により、児童生徒への支援充実を進めたい。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策3	学校園における教育の充実

事務事業	学校教育運営事業																		
事業目的	奨学金審査会や学校協議会など各種委員会を開催したり、学校教育の運営に関する業務を実施したりすることで、円滑な学校運営を図る。																		
事業概要	本市奨学金の給付審査、学校教育に資する各種委員会の活動補助、就学・転学や就学援助に係るシステム保守など学校運営に係る取組みを実施する。また、教職員のストレスチェック、産業医面談の設定等、労働安全衛生環境の保持増進を図り、教員支援を行っている。																		
令和3年度の主な実施内容	<p>【奨学金審査会】 実施回数1回 【いじめ問題対策委員会】 実施回数1回</p> <p>参考：富田林市奨学金支給者及び申請者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給者</td> <td>121</td> <td>120</td> <td>118</td> <td>160</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>申請者数</td> <td>248</td> <td>219</td> <td>206</td> <td>166</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table> <p>【学校協議会開催状況】</p> <p>各校において年間3回(学期に1回)程度開催し、各協議会委員に対して学校運営に係る状況を報告するとともに、地域から見た学校教育の在り方について意見をいただいた。</p>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支給者	121	120	118	160	118	申請者数	248	219	206	166	210
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度														
支給者	121	120	118	160	118														
申請者数	248	219	206	166	210														
点検・評価	各種委員会においては、専門性を有する学識経験者や市民からの示唆や意見を頂き、本市における取組みや施策に係る審査等を行った。各委員会はその役割を果たすべく適切に機能しており、今後もその在り方について検証を行いながら取組みを進めていきたい。学校協議会については、地域へ学校教育活動を説明する場であると同時に、助言をいただく場でもあり、重要な役割を果たしている。また、教職員のストレスチェックについては、簡便なWeb形式のものに切り替え、より適切な支援につなげられるよう改善を図っている。																		
課題	<p>各種委員会や学校協議会については、各施策や学校の教育活動を確認・検証するために不可欠であり、今後も継続していくことが必要である。一方で、より広く意見を募ることができる形を模索するなど、その在り方については、より効果的なものとなるよう検討する余地があり、引き続き検証を行いたい。</p> <p>事務局の各システム関係については、今後も改修や更新が想定されることから、適切に事務実施できるよう準備を整える必要がある。</p>																		
今後の方向性	奨学金の給付については、教育の機会均等を図る上で重要であり、審査会の適正な運営を維持していきたい。また、いじめ問題対策委員会についても、本市の状況に対して広く意見を聴取できるよう、議事検討を行いたい。加えて、地域との連携を念頭に置いた「社会に開かれた教育課程」が、子どもたちの資質・能力の育成につながるよう、学校協議会において示された意見を学校運営の改善に活かしていきたい。																		

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

### [総合基本計画における施策体系]

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策3	学校園における教育の充実

事務事業	教育コミュニティ推進事業・地域による学校教育支援事業
事業目的	学校・地域・家庭の総合的な教育力の再構築を図る地域教育協議会を運営する。 各中学校区において、地域の方を中心に学校支援ボランティアを組織し、学校教育に関わる支援活動を行うことで、児童生徒の生活習慣の確立等を図る。
事業概要	学校・地域・家庭の総合的な教育力の再構築を図る地域教育協議会の運営や、地域の方を中心に組織された学校支援ボランティアによる支援活動を財政面から支援する。
令和3年度の主な実施内容	<p>【各中学校区の特色に応じた取組み】</p> <p>コロナ禍にあって中止や縮小を余儀なくされていた各取組みについて、昨年度と比較して少しずつ状況が改善しつつある。フェスタ等のイベントは、依然開催はできていないものの、地域教育協議会が中心となって取り組んでいるグリーン作戦(清掃活動)等の活動や校区あいさつ運動などでは、参加者数が回復してきている。</p>  <p>また、学校支援コーディネーターによる学校支援活動(部活動指導、放課後の学習指導、読み聞かせ等)については、活動を精選しながら取組みが行われている。地域との連携が学校教育をより活性化させるものであるとの認識のもと、教育コミュニティづくりの推進が図られた。</p>
点検・評価	地域教育協議会や学校支援コーディネーターとの連携により、学校教育活動の充実が図られている。一方で、学校支援ボランティアについては、各校区の活動への参加が定着してきているものの、更なるボランティア人材の発掘については懸念されるところである。
課題	学校支援に関わる人材確保や育成については、今後の課題となると考えられる。また、地域とのさらなる協働を考える際には、保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会(コミュニティスクール)」の導入についても検討する必要があると考えられる。
今後の方向性	各中学校区すこやかネットの取組みにかかる諸費用については、財政的な支援や財源の確保が不可欠となることから、引き続き、生涯学習課と連携して財政的支援を行いたい。また、学校運営協議会については、近隣市の先行事例を参考に、本市における在り方を模索し、最善の形で施策にできるよう研究を進めていきたい。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策3	学校園における教育の充実

事務事業	教育研究事業
事業目的	富田林市教育委員会主催の研修会や各学校園の研修等を充実させることで、教職員の資質向上を図り、教育力の向上に努める。
事業概要	教員研修の実施及び、研究委嘱校を中心に各校園の状況に応じた教育力向上のための研究への補助を行う等、市内学校園の教育研究に関する事業を実施する。

令和3年度の主な実施内容	<p>・令和3年度富田林市教育研究事業</p> <p>【カリキュラム・マネジメント調査研究（小金台小学校）】</p> <p>本事業は、国からの研究委嘱を大阪府より再委託された事業でもあるため、年間の研究成果を「カリキュラム・マネジメントの手引き」として、本市のみならず、府域にも発信し、国や大阪府からも一定の評価を得た。</p>
--------------	--

### 富田林市立小金台小学校

『今と未来、社会で生きる自分らしさを』  
～小金色の深い学びをめざして

隣接する中学校と、新たに令和4年度より小中一貫校になるにあたり、これまで校区で共通理解を築いてきた「めざす子ども像」を見直し、『今と未来、社会で生きる自分らしさを』とした「つげたい力」を構造化し、新たな教科等横断的な学びのためのカリキュラムの作成について、生活科や総合的な学習の時間を核にした「未来科」として研究を進めることとした。

#### 4. 今後に向けた展開

「未来科」では、前・中・後期それぞれを総合する活動として、それぞれの中で学んだことを表現し伝える発表やスピーチなどの活動を位置付けると考えているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による異学年交流を行うことが困難な状況であった。令和4年度は、各学年の「未来科」の取組の中で、中学生が小学生に対して発表やスピーチを行う活動や、小学生が中学生に意見やアドバイスを求める活動を行うなど、小中一貫教育の機能や特性を活かした活動を行っていく。

また、「未来科」は、各教科で育まれた力が発揮される場でもあった。系統性を持って進めていくためには、「未来科」と「つげたい力」の構造化、及び各教科との関連を明らかにした、指導計画表を作成する必要がある。

#### 1. 「つげたい力」の構造化

「めざす子ども像」を実現するため、9年間を通じて段階的に育成する「つげたい力」を明確にして構造化し、その育成に向けた方策の具現化を図り、各学年で指導を図る必要があった。

学力プロジェクトチームの担当者が、児童生徒の実態、教職員の願い、新学習指導要領の理念、教科等横断的な視点、小・中学校それぞれの授業実践、両校の指導テーマ等を踏まえ、検討を重ねて子ども「つげたい力」を次の4つの柱で整理した。

**I といわれる力 II カチにする力**  
**III 伝え合う力 IV 今をいきる力**

上記の4つの柱ごとに具体的な内容項目を挙げ、さらに前・中・後期に区分して整理した「構造化表」(表)を作成した。夏季休業期間中に実施した小中合同研修において全職員で検討を行い、授業の中で、具体的にどのような学習活動が「つげたい力」をイメージしながら、前期・中期・後期ごとに組み合わせを行い、今後の小・中学校の授業で活用して検証するよう共通理解を図った。

#### 2. 国語科を中心とした言語力育成の取組と系科的な指導計画の作成

国語科の授業研究においても、言語能力の育成について、先進校と構造化し検証させながら取組む。常に子どもたちに「つげたい力」の系統を確立しながら研究を進めた。このことで、単元計画を作成する際にも単元のゴール(「つげたい力」)から逆算して、指導計画の作成されるようになり、必然的に指導と評価の一体化が図られるようになった。

さらに、子どもたちの学びを支えるツールとしてタブレットが有効活用され、思考ツールの使用が一般化したことも成果の一つである。

今年度は、国語科を核として実践し、研究を進めてきたが、今後の教科においても「つげたい力」を意識するとともに、各教科等横断における言語活動を整理・分析し、国語科で図っている言語活動の充実と関連付けて、すべての教科等横断を通じて言語能力の向上をめざしていく必要があることを再度全職員で確認する必要がある。

#### 3. 「未来科」の創設

小中一貫校でめざす子ども像の具現化のため、生活科総合的な学習の時間等のカリキュラムを再構築し、今日的な社会課題(SDGs、キャリア教育等)を踏まえたこれからの「生き方」を9年間で見守り、新たな学びのためのカリキュラムの作成について、その取組を「未来科」として研究を進めた。

「未来科」は、おもに「つげたい力」を集約することから指導計画をすすめた。新教科の設置というよりは、「未来科」はあくまでも既存の生活科、総合的な学習の時間を再構築であり、これでの取組を検証し、めざす子ども像の具現化に有効なものを系統化していくことを目的とした。


小単元名	学習活動	つげたい力
1-1	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-2	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-3	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-4	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-5	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-6	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-7	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-8	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-9	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-10	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-11	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-12	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-13	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-14	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-15	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-16	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-17	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-18	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-19	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを
1-20	自分と他者の違いを認識し、自分らしさを大切にしようとする。	自己のよさを

#### 【実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム（第一中学校）】

本プログラムは、生徒が持続可能な社会の実現に向け、SDGs等の取組を学び、自分たちのアイデアをプレゼンすることを目的している。成果として、社会参画意識の向上を見ることができた。

「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」

地域	令和元年度	令和3年度
実践校	33.2	40.4
大阪府	35.2	39.8
全国	39.4	43.8

<p>令和3年度 の主な 実施内容</p>	<p>【小中一貫教育に係る研究（明治池中学校・小金台小学校）】</p> <p>両校は令和4年度の小中一貫校の開校をめざして、教育内容の研究を進めた。研究の進捗については、小中一貫教育連絡会をとおして市内の小中学校と共有し、年度末には取組みをまとめたリーフレットを発行した。</p> 
<p>点検・評価</p>	<p>市内教職員が今日的な教育課題の研究を委嘱された学校から成果を学び、教育技術の研鑽に努めている。2カ年計画で研究を委嘱し、2年目には市域への研究発表を行っており、本市の教育力向上に欠くことができない事業となっている。</p>
<p>課題</p>	<p>現在、新学習指導要領の全面実施及び、GIGAスクール構想の実現に向け、これまでの教育実践とICTとを最適に組み合わせ、どちらの良さも生かした教育を推進していくなど、引き続き専門性の高い教育技術が求められている。これからの変化が予測困難な社会を生き抜くための資質・能力を子どもたちに育むためには、不断の授業改善に取り組む必要があり、教職員の指導力向上は欠かせない。</p>
<p>今後の 方向性</p>	<p>引き続き、研究委嘱校の研究成果や公開授業等をデータ化して、必要ときに教職員が閲覧できる環境を整える。また、各種研究団体や、各校園における研修に係る補助及び支援を継続していくことで、個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けて、本市全体の教育力向上に努めていきたい。</p>




## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	小学校教育用パソコン管理事業・中学校教育用パソコン管理事業				
事業目的	高度情報化社会を担う子どもたちに求められる情報活用能力の育成を図る。				
事業概要	<p>GIGAスクール構想のもと、令和2年度より整備された小中学校のICT環境を効果的に活用し、情報教育の充実に努めるとともに、その管理及び環境整備にあたる。</p> <p>学習指導要領に基づき、教科横断的な視点で ICT機器を活用することで、情報活用能力を育成するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進める。</p>				
令和3年度 の主な 実施内容	<p>学習指導要領では、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」として位置づけられており、ICT機器等を活用した学習活動等の充実が求められている。このような取組みを推進するため、学習用タブレット端末を各教科の学習において効果的に活用した実践事例を教職員向けポータルサイトで各校に発信・共有するなど、市域全体で取組むことができた。また、臨時休業時等においては学習用タブレット端末を有効的に活用し、オンライン学習を実施するなど、子どもたちの学習保障や心のケアに取り組むことができた。</p>				
					
	<p>【令和3年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】</p> <p>「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見交換をしたり、調べたりするために、どの程度使用していますか」肯定的回答の割合 ( ) 数値は大阪府</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">小学校:53.7%(39.3%)</td> <td style="width: 50%;">中学校:59.4%(32.0%)</td> </tr> </table> <p>【教職員向けポータルサイト実践事例掲載数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">約200本</td> <td style="width: 50%;">主な内容…授業づくり、支援教育、学習ドリル、オンライン学習等</td> </tr> </table>	小学校:53.7%(39.3%)	中学校:59.4%(32.0%)	約200本	主な内容…授業づくり、支援教育、学習ドリル、オンライン学習等
小学校:53.7%(39.3%)	中学校:59.4%(32.0%)				
約200本	主な内容…授業づくり、支援教育、学習ドリル、オンライン学習等				
点検・評価	令和3年度に本格運用が開始した GIGA スクール構想において、市教委主催のICT活用研修を5回実施した。各校においても、校内研修や子どもたちへの情報モラル教育の実施が増加する等、市内全体でICT活用に係る取組みを進めることができています。				
課題	児童生徒の資質・能力の育成につながる効果的なICT活用に向けてICT研修の実施内容を教職員のニーズに合わせて変更したり、ICT 支援員等の人材配置を継続したりすることで、効果的なICT活用について研究を深めていく必要がある。				
今後の方向性	情報活用能力の育成や、主体的・対話的で深い学びを実現するためのICT活用に向けて、今後、より一層学校ICT環境の整備や研修の充実に努めていきたい。				

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策3	学校園における教育の充実

事務事業	幼稚園教育推進事業
事業目的	幼稚園教育においては、個々の発達状況に応じて教育課題に即したきめ細かい指導が必要であり、子育てについての支援活動も急務である。配置基準に基づく教員(講師)の配置と幼児教育に理解のある方や教員志望の学生による支援、合同保育や園外学習の実施により、幼児教育の充実と子育て支援活動の推進を図る。
事業概要	個々の発達課題に応じた指導や、生活適応指導及び子育て支援のための各幼稚園への支援のため、配置基準に基づく教員(講師)の配置や延長保育に係る支援人材(幼稚園サポーター)の派遣を通して幼児教育の充実を図る。また、合同保育実施のための送迎バス委託や園外での舞台芸術鑑賞の機会の設定等、保育内容の充実に努める。
令和3年度の主な実施内容	<p>【配置基準に基づいた教員(講師)の配置、3歳児保育の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10園に対して21名の教員(講師及び養護教諭)配置予算を確保するとともに、教員の多様な働き方に対応するため、短時間講師の制度を創設して人材確保に努めた。</li> </ul> <p>【幼稚園サポーターの派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園における延長保育の実施にあたり、幼稚園サポーターを派遣することで、幼児一人ひとりに応じた丁寧な対応を行うことができた。</li> </ul> <p>【合同保育実施のための送迎バス委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数園での合同保育を実施することで、他園児とのふれあいの機会を確保した。</li> </ul> <p>【園外学習扶助による舞台芸術鑑賞の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立幼稚園5歳児を対象に、劇団カッパ座の舞台公演を団体で鑑賞した。</li> </ul>
点検・評価	幼児一人ひとりの発達状況に応じたきめ細かい指導を行うとともに、3歳児保育、幼稚園給食、預かり保育の新たな取組みを行ったことで充実した活動が実施できている。保護者や地域の方々からも、各幼稚園における教育活動について、高い評価をいただいている。また、大学等とも連携して、保育内容について指導助言を頂くことで教員の質の向上を図ることができた。他にも、園外学習扶助により舞台芸術「3びきのこぶた」の鑑賞が実施でき、子どもたちにとって身近な物語を本格的な芸術の鑑賞につなげることができた。
課題	<p>幼児教育の充実を図るために、今後も継続的に教諭の新規採用や講師配置を行い、優秀な教員を確保するとともに働き方改革を進める必要がある。</p> <p>市立幼稚園に関する市の方針が定まるまでの間にも、より良い教育を提供できるよう、送迎バスやボランティア人材を確保する必要がある。</p>
今後の方向性	今後策定予定の「幼保あり方基本方針」に沿った園運営ができるよう幼稚園現場や幼児教育センターと情報連携に努めるとともに、現在実施している3年保育、幼稚園給食、預かり保育などの取組みについては、引き続き実施し、幼児教育の充実を図りたい。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策3	学校園における教育の充実

事務事業	小学校支援学級等就学事業・中学校支援学級等就学事業
事業目的	小中学校支援学級に在籍する障がいのある子どもたちが、安全でかつ生き生きと活動できるよう介助員等を配置する。 保護者の経済的負担軽減を目的とした扶助費を支給する。
事業概要	小中学校に介助員等を配置する。 肢体不自由の障がいがある子どもたちの登下校について送迎を行うとともに介添人を配置する。また、作業療法士による機能回復訓練を行う。 医療的ケアを必要とする障がいがある小中学生が宿泊行事等へ参加する際、看護師の派遣を行う。 支援学校在籍児童生徒の保護者に対して扶助費を支給する。
令和3年度の主な実施内容	・小学校に介助員46人、介添人2人、特別介助員5人を配置した。 ・中学校に介助員18人を配置した。 ・小学校30回・中学校13回の肢体不自由児童生徒対象の機能回復訓練を行った。 ・宿泊行事等で小学校3件・中学校5件の看護師派遣を行った。 ・支援学校在籍児童生徒の就学に対して扶助費を支給し、保護者の経済的負担を軽減した。
点検・評価	介助員等の配置により、小中学校支援学級に在籍する障がいのある子ども達が、安全でかつ生き生きと活動している。 また、扶助費の支給により、保護者に対する経済的負担軽減が図られている。
課題	支援学級に在籍する児童生徒の増加やニーズの多様化に対応するために、介助員の配置充実を図る必要がある。また、介助員や看護師資格をもつ特別介助員、機能回復訓練士の確保などに課題がある。
今後の方向性	本市立富田林小学校、及び第一中学校を肢体不自由児教育のセンター的運用校に位置づけており、引き続き、機能回復訓練士の派遣に努めたい。また、介助員等の配置に対する市民ニーズは年々高まっていることや、法により市が合理的配慮を行うことが義務付けられていることから、今後も介助員の適切な配置に努めるために、募集についても広報し、より良い人材の確保に努めたい。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	幼稚園肢体不自由児等就学事業		
事業目的	<p>支援を要する幼児の就園に関する教育相談および支援を要する園児に対する介助員を必要数配置する。</p> <p>それにより、個々の幼児の発達に応じたきめ細かい指導を行う。</p>		
事業概要	<p>就園のための教育相談を実施する。</p> <p>幼稚園に介助員を配置する。</p>		
令和3年度の 主な 実施内容	<p>・幼児の就園に向けて特別教育支援士による教育相談を25件実施し、保護者の不安の解消をはかるとともに、就園後の支援について教職員にアドバイスをすることで、幼児のスムーズな就園につなぐことができた。</p> <p>・市立幼稚園10園に計23名の介助員を配置したことで、園に在籍する支援を要する子どもたちの安全安心な幼稚園生活を担保し、合理的な配慮を提供した。</p> <p>・前年度に引き続き、医療的ケアを必要とする幼児について、看護師資格を有する特別介助員を配置するとともに、就学に向けて小学校と更なる連携をはかった。</p>		
	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
介助員配置数	19名 (うち特介1名)	19名 (うち特介1名)	23名 (うち特介1名)
点検・評価	<p>発達の遅れや障がいがあるないに関わらず、誰でもいつでもどんなときでも市立幼稚園に就園できる体制をとることによって、法の意図をくむことができていると共に、市立幼稚園が果たすべき役割を全うできているものといえる。特に、日常的に医療的ケアを必要とする幼児については、特別介助員の配置が必須であり、他の介助員の配置と併せて、就学に向けて子どもたちの自立につながる合理的配慮の提供ができたものと考えている。</p>		
課題	<p>医療行為ができる特別介助員は看護師免許が必要となるため、人材を確保することが非常に困難である。今後も市立幼稚園に医療行為の必要な園児がスムーズに就園できるように、人材を確保していくことが必要となる。</p>		
今後の 方向性	<p>引き続き、障がいがある子どもを含めたすべての子どもたちに集団による幼児教育を提供することが市立幼稚園の責務であることなどから、今後も介助員・特別介助員の適切な採用と配置に努めるとともに、資質向上に向けた研修も引き続き実施したい。</p>		

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：学校給食課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	学校給食管理運営事業・幼稚園給食事業																																											
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の一環として、正しい食習慣を身につけてもらうこと。</li> <li>・友達や先生と一緒に食べることにより、自分の体を大事にし他者を思いやる心を育て、食に対する関心を持てるように促すこと。</li> <li>・今後の人生の基礎となる心身の発達に寄与すること。</li> </ul>																																											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小学校・幼稚園の児童・園児を対象に、安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供し、食育を推進する。</li> <li>・調理業務については、富田林学校給食(株)に業務委託をする。</li> <li>・試食会等を通して、学校給食への理解を深めてもらう。</li> <li>・公会計による学校園給食費の賦課・徴収管理。</li> <li>・アレルギー対応食を提供する。</li> </ul>																																											
令和3年度の主な実施内容	<p>【理事会、各委員会の開催状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名 称</th> <th style="width: 40%;">開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校給食会 理事会</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>衛生管理委員会</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>物資納入業者選定委員会</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>物資購入委員会</td> <td>12 回</td> </tr> <tr> <td>献立作成委員会</td> <td>7 回</td> </tr> <tr> <td>給食主任会</td> <td>0 回</td> </tr> <tr> <td>アレルギー対応食検討委員会</td> <td>1 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【小学校給食の実施状況】 小学校数:16校 対象児童数:4,979人 実施日数:186日</p> <p>【幼稚園給食の実施状況】 幼稚園数:10園 対象園児数:264人 実施日数:135日</p> <p>【参考：年度別年間給食数】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>小学校</th> <th>小学校</th> <th>小学校</th> <th>幼稚園</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校園数</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>年間給食数</td> <td>935,025</td> <td>924,702</td> <td>994,552</td> <td>40,888</td> </tr> <tr> <td>一日平均給食数</td> <td>5,436</td> <td>5,195</td> <td>5,347</td> <td>303</td> </tr> </tbody> </table>				名 称	開催回数	小学校給食会 理事会	1 回	衛生管理委員会	1 回	物資納入業者選定委員会	1 回	物資購入委員会	12 回	献立作成委員会	7 回	給食主任会	0 回	アレルギー対応食検討委員会	1 回		令和元年度	令和2年度	令和3年度		小学校	小学校	小学校	幼稚園	学校園数	16	16	16	10	年間給食数	935,025	924,702	994,552	40,888	一日平均給食数	5,436	5,195	5,347	303
名 称	開催回数																																											
小学校給食会 理事会	1 回																																											
衛生管理委員会	1 回																																											
物資納入業者選定委員会	1 回																																											
物資購入委員会	12 回																																											
献立作成委員会	7 回																																											
給食主任会	0 回																																											
アレルギー対応食検討委員会	1 回																																											
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																									
	小学校	小学校	小学校	幼稚園																																								
学校園数	16	16	16	10																																								
年間給食数	935,025	924,702	994,552	40,888																																								
一日平均給食数	5,436	5,195	5,347	303																																								

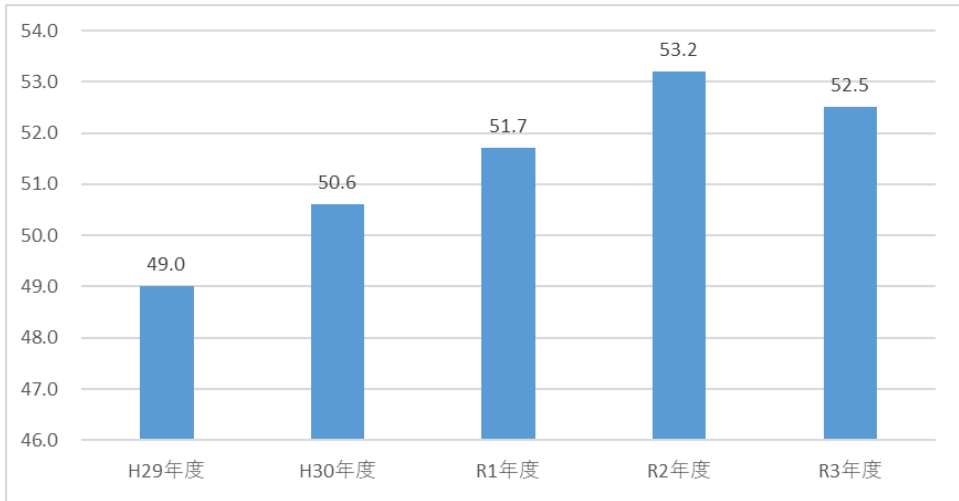
<p>令和3年度の主な実施内容</p>	<p>衛生管理に細心の注意を払いながら、学校給食センターで調理を行い、安全安心な小学校給食・幼稚園給食の提供を行った。</p> <p>幼稚園10園において、4・5歳児は4月から、3歳児は5月から給食提供を開始した。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により、給食提供ができず中止になることもなく、調理や配膳等の給食業務を予定どおり実施した。</p> <p><b>【給食費の賦課徴収】</b></p> <p>徴収管理については、債権管理課に所属する弁護士の助言を受け法的手続き、支払督促等、督促、催告に取り組んだ。また、6月からは納付の利便性向上のためコンビニ収納、電子決済で納付できるようになった。</p>
<p>点検・評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食センター、小学校、外部専門家が連携し、学校給食の衛生管理を徹底するため、衛生管理委員会を開催した。</li> <li>・給食費の徴収率は、96.01%で、前年度の94.29%より上昇した。</li> <li>・食物アレルギーを有する児童も同じように給食を楽しむことができるよう、卵を除去したアレルギー対応食を希望する児童に対し安全に提供できている。</li> <li>・幼稚園給食において、小学校配膳室から各幼稚園への給食運搬に加え、園児が給食時間内に食べることで、また食缶や食器の返却等、幼稚園の協力のもと、給食提供ができている。</li> <li>・幼稚園給食においても、小学校給食と同じアレルギー対応食の提供に向けて、希望する園児に対し面談を行った。</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小学校16校で地域の方々と小学生がともに給食時間を過ごす「給食の日」の取り組みは、新型コロナウイルス感染状況が終息に向かっていることが前提にはなるが、学校現場と教育委員会が協力しながら開催できるよう準備していく必要がある。</li> <li>・幼稚園給食を実施していく中で、配膳台等の備品、消耗品等の要望があり、幼稚園とも調整して対応する必要がある。</li> </ul>
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の観点から、引き続き地場産の活用を図っていく。</li> <li>・給食費をコンビニや電子決済で納付でき、利便性が向上した事を給食費の徴収率につなげ、適正な徴収管理に引き続き取り組む。</li> <li>・令和3年度から開始した幼稚園給食は、献立内容においても安全面に配慮しつつ、より良いものにしていく。</li> <li>・幼稚園給食においても、給食センター、幼稚園が協力しながら、令和4年度から食物アレルギー対応食の提供を開始できるように準備を進めていく。</li> </ul>

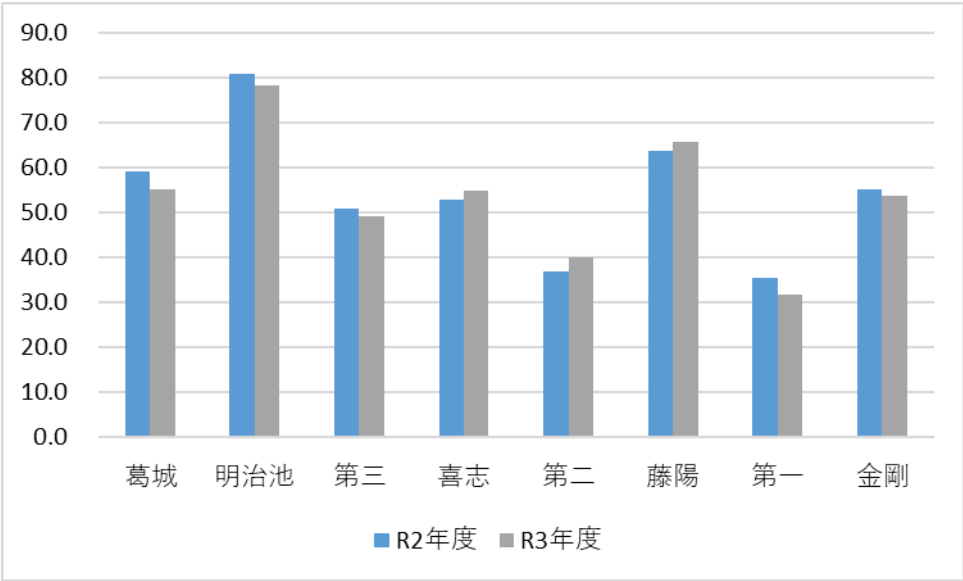
## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：学校給食課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	中学校給食事業												
事業目的	未来の担い手を育む教育の一環としての中学校給食運営												
事業概要	<p>学校給食法等に基づき、安全・安心な自校式給食を希望選択により提供するとともに、その内容を食育に活かす。</p> <p>①給食関連設備の管理 ②給食食数管理 ③給食物資の調達 ④調理業務委託 ⑤食育の推進</p>												
令和3年度の主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒人数:2,384人 全体実施日数:187日 全体調理食数:220,650食</li> <li>・生徒考案献立の提供 8回</li> <li>・調理員おすすめ献立の提供 1回</li> <li>・調理業務従事者に対する衛生管理研修会の実施</li> <li>・新1年生全員に給食を一日無償提供する「給食の日」の実施</li> </ul>												
点検・評価	<p>平成30年度に初めて年間喫食率が50%を突破し、以降、令和3年度まで50%を超えている。</p> <p>【参考：喫食率の推移（中学校全体）】</p>  <table border="1"> <caption>喫食率の推移（中学校全体）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>喫食率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td>49.0</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>50.6</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>51.7</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>53.2</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>52.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【資料編 P57：「中学校給食 喫食率の推移」参照】</p> <p>調理員が立案したおすすめ献立の取組を行うことにより、調理員の意識やモチベーションが向上するとともに、衛生管理研修会を通じて衛生管理の徹底を確認し、安全安心で質の高い学校給食に必要な食育に対する理解や衛生管理に関する知識を深めることができた。</p>	年度	喫食率 (%)	H29年度	49.0	H30年度	50.6	R1年度	51.7	R2年度	53.2	R3年度	52.5
年度	喫食率 (%)												
H29年度	49.0												
H30年度	50.6												
R1年度	51.7												
R2年度	53.2												
R3年度	52.5												

<p>点検・評価</p>	<p>家庭科の授業と連動して食育の授業を行い、生徒自らが考えた献立を給食で提供する取組では、関心も高くなって概ね喫食率は上がる傾向にあり、食に対する興味をもてることにつながっている。</p> <p>5月の「給食の日」でアンケートを実施した結果、約9割の生徒が少なくとも一回は給食を利用しており、給食の味や量については約7割の生徒がおいしかった、ちょうどよかったと回答している。</p>																											
<p>課題</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大により給食提供ができずに中止となることもなく、予定どおり実施できたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、学級、学年、学校閉鎖による給食停止が度々発生した。給食停止時に発注を止められない材料の費用について、給食費を圧迫することなく給食を安定して運営できるよう検討する必要がある。</p> <p>選択制かつ自校調理方式は、参考となる他団体も少ないことから、生徒・保護者の意見や、学校教育の観点、費用対効果など総合的な面から、目指すべき中学校給食の検討が課題である。</p>																											
<p>今後の方向性</p>	<p>引き続き、自校調理方式の給食のおいしさや、調理員が配膳室で盛り付けし生徒と対面して提供する温かみを伝え、季節や旬に合わせた献立づくりや地場産の活用など、食育の観点も大いに考慮し、給食の充実に取り組みながら、生徒や保護者により多く給食を選択してもらえるきっかけづくりに努めていく。</p> <p><b>【参考：喫食率の推移（各中学校）】</b></p>  <table border="1"> <caption>喫食率の推移（各中学校）</caption> <thead> <tr> <th>中学校</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>葛城</td> <td>58.0</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>明治池</td> <td>80.0</td> <td>78.0</td> </tr> <tr> <td>第三</td> <td>50.0</td> <td>48.0</td> </tr> <tr> <td>喜志</td> <td>52.0</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>第二</td> <td>36.0</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>藤陽</td> <td>63.0</td> <td>65.0</td> </tr> <tr> <td>第一</td> <td>35.0</td> <td>32.0</td> </tr> <tr> <td>金剛</td> <td>55.0</td> <td>53.0</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【資料編 P57「中学校給食 喫食率の推移」参照】</b></p> <p>平成19年1月の給食開始から10年以上が経過しており、今後も安定して給食を実施するため、給食調理施設は、機器の入替や修繕、設備の改良等の老朽化対策を行っていく。</p> <p>給食のウェブ申込や給食費のコンビニ支払い等の非接触化について、令和4年度中の導入に向けて準備を進めていく。</p>	中学校	R2年度	R3年度	葛城	58.0	55.0	明治池	80.0	78.0	第三	50.0	48.0	喜志	52.0	55.0	第二	36.0	40.0	藤陽	63.0	65.0	第一	35.0	32.0	金剛	55.0	53.0
中学校	R2年度	R3年度																										
葛城	58.0	55.0																										
明治池	80.0	78.0																										
第三	50.0	48.0																										
喜志	52.0	55.0																										
第二	36.0	40.0																										
藤陽	63.0	65.0																										
第一	35.0	32.0																										
金剛	55.0	53.0																										



## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 4	未来の担い手の育成

事務事業	社会教育団体補助事業
事業目的	市内の社会教育関係団体活動の推進を図る。
事業概要	市内の社会教育関係団体の健全な発展を図るとともに、教育の振興と児童・青少年の福祉の増進に協力し、教育環境の向上に努める。 富田林市PTA連絡協議会への委託的事業補助。
令和3年度の主な実施内容	<p><b>【富田林市 PTA 連絡協議会】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症により、PTA 活動が大きく制限されたが、活動を実施した市 PTA 連絡協議会加盟校園に対して、例年どおり補助金を交付した。また、例年の活動である市 PTA 大会等については中止となり、市 PTA 総会も書面開催となるなど、限られた中ではあったが、開催可能な事業を実施した。</p> <p>富田林市 PTA 連絡協議会補助金:124 千円</p> <p><b>【富田林市少年少女合唱団】</b></p> <p>定期演奏会などを実施、事業に対する補助金を交付した。</p> <p>富田林市少年少女合唱団補助金:126 千円</p> <p><b>【富田林市少年少女合唱団講演の様子】</b></p> 
点検・評価	富田林市 PTA 連絡協議会と富田林市少年少女合唱団は、共に本市の社会教育関係団体で、子どもの健全育成のために活動しており、補助金の交付は適正である。
課題	富田林市 PTA 連絡協議会については、上部団体にあたる大阪府 PTA 協議会への分担金が大きな負担となるなか、府PTA協議会からの情報提供や助成などが分担金に見合っていないことが引き続き課題である。 富田林市少年少女合唱団は、団員の確保が課題であるため、広報活動においてチラシを公共施設にて掲示及び配布するなど協力を行っている。
今後の方向性	富田林市 PTA 連絡協議会と富田林市少年少女合唱団は、ともに子どもの健全育成のための活動をしており、今後も支援を継続する。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 6	市民文化・スポーツの推進

事務事業	文化振興基金運用事業																		
事業目的	「文化振興基金」を活用し、さまざまな文化事業に助成金を交付することで、市民文化の振興を図る。																		
事業概要	市内で活動する文化団体が結成の節目(10周年等)に、文化の振興に著しく寄与する事業を行ったり、文化振興のために特に意義がある事業を行うときや、市又は市教育委員会と協働して行う事業に対して、事業費のうち対象経費の2分の1以内で20万円を上限として助成金を交付。																		
令和3年度の主な実施内容	<p>予算額(60万円)を上回る助成申請があったが、新型コロナウイルス感染症の影響による事業縮小や中止(申請取り下げ)により、下記の3件に交付した。</p> <p>【年度別 文化振興事業助成金交付実績】 (単位：件、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>交付金額</td> <td>354,433</td> <td>464,240</td> <td>554,109</td> <td>0</td> <td>349,348</td> </tr> </tbody> </table> <p>【令和3年度 文化振興事業助成金 交付事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創立20周年記念 くすのき塾シニアのお祭り</li> <li>・世界の笑顔・世界の学校写真展</li> <li>・富田林女声コーラス50周年演奏会</li> </ul>	年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	交付件数	3	3	6	0	3	交付金額	354,433	464,240	554,109	0	349,348
年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度														
交付件数	3	3	6	0	3														
交付金額	354,433	464,240	554,109	0	349,348														
点検・評価	市民が本市の文化向上に寄与する事業を自主的に行うもので、市民文化活動の支援という面で一定評価できる。また財源は文化振興基金を活用している。																		
課題	基金設立以来、預金利息の範囲で助成金を交付してきたが、近年は金利も低く利息だけでは助成金を賄えないため、基金を取り崩して助成金を交付している。なお毎年60万円の予算を計上しているが、これを超える申請が出される年もあったことから、予算の規模について検討が必要。																		
今後の方向性	助成金の申請件数・金額が増加傾向にあることから、予算額の増額について検討する。また令和4年度に策定する富田林市文化芸術振興ビジョンに基づいて、基金を活用した新規事業を検討する。																		

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2)未来の担い手を育む教育
個別施策 4	未来の担い手の育成



事務事業	青少年団体補助事業
事業目的	こども会育成連絡協議会活動やボーイスカウト・ガールスカウト活動を支援することにより、児童の健全な育成を図る。
事業概要	こども会育成連絡協議会活動経費の負担。
令和3年度の主な実施内容	<p>例年、普及事業としての広報誌の作成や、文化活動としてのこども作品展の開催、野外活動事業として、チャレンジクラブ事業、たこあげ大会等を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症により多くの行事を事前に中止せざるを得なくなり、また、感染症対策を講じて、実施予定であった事業も、緊急事態宣言の発令等により、直前に中止になるなど、すべての事業が中止となった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【チャレンジクラブ 過去の宿泊研修の様子】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【チャレンジクラブ 開講式の様子】</p> </div> </div>
点検・評価	子ども会育成連絡協議会は、幅広い異年齢間の交流、指導者・育成者等の交流、また、こどもの主体的な活動を実施しており、青少年の健全育成や、未来の担い手の育成に寄与している。
課題	単位こども会・加入者の減少、また市こども会育成連絡協議会の指導者の高齢化が進展し、後進の育成が課題である。
今後の方向性	<p>現在の市こども会育成連絡協議会の指導者は、単位こども会における活動実績はあるものの、単位こども会から選出されたわけではないが、特に単位こども会からの不満の声等も無く、大きな課題等も無い。</p> <p>しかしながら、現在の指導者の高齢化などを踏まえて、今後、単位こども会から新たな担い手を確保していくためには、役員を選出方法等を単位こども会の育成者の負担を考えながら検討していく必要がある。</p>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (1)親と子を支える子育て環境づくり
個別施策 2	子ども・子育て支援の充実

事務事業	放課後子ども教室推進事業																																
事業目的	地域ボランティア等の協力により、安心・安全な子どもの居場所を確保し、スポーツや文化活動、交流活動等とおして、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる教育コミュニティづくりを推進する。																																
事業概要	市内16小学校の学校施設を利用した教室を実施するにあたり、地域ボランティアとの連絡調整及び活動プログラムの企画・立案をすると共に、放課後等にスポーツや文化活動、交流活動等を実施する。令和2年度からは、新型コロナウイルスによる学校の一斉休校により授業の遅れが発生したことを契機として、放課後学習教室「とんとんスタディ」を新たに開始した。																																
令和3年度の主な実施内容	<p>【放課後子ども教室開催回数等】</p> <p>令和3年度は、中止</p> <p>【主な教室内容】</p> <p>クリスマスかざり、アイロンビーズ、プラバンなどの工作やドッチボール、バドミントンなど</p> <p>【放課後学習教室「とんとんスタディ」】</p> <p>令和3年度は小学校7校(喜志、新堂、大伴、錦郡、寺池台、高辺台、久野喜台)で実施。大学生ボランティアによる学習支援。</p> <p>【放課後学習教室「とんとんスタディ」実施回数や実施の様子】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>喜志</th> <th>新堂</th> <th>大伴</th> <th>錦郡</th> <th>寺池台</th> <th>高辺台</th> <th>久野喜台</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>33回</td> <td>16回</td> <td>77回</td> <td>14回</td> <td>6回</td> <td>21回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (小学生)</td> <td>507人</td> <td>179人</td> <td>3,083人</td> <td>221人</td> <td>33人</td> <td>322人</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (大学生)</td> <td>146人</td> <td>38人</td> <td>321人</td> <td>66人</td> <td>11人</td> <td>58人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【とんとんスタディ実施の様子①】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【とんとんスタディ実施の様子②】</p> </div> </div>		喜志	新堂	大伴	錦郡	寺池台	高辺台	久野喜台	実施回数	33回	16回	77回	14回	6回	21回	5回	参加者数 (小学生)	507人	179人	3,083人	221人	33人	322人	84人	参加者数 (大学生)	146人	38人	321人	66人	11人	58人	10人
	喜志	新堂	大伴	錦郡	寺池台	高辺台	久野喜台																										
実施回数	33回	16回	77回	14回	6回	21回	5回																										
参加者数 (小学生)	507人	179人	3,083人	221人	33人	322人	84人																										
参加者数 (大学生)	146人	38人	321人	66人	11人	58人	10人																										

点検・評価	<p>令和3年度の「とんとんスタディ」の実施小学校は7校(喜志、新堂、大伴、錦郡、寺池台、高辺台、久野喜台)あり、受け入れをした小学校側の反応も良かった。</p>
課題	<p>従来から実施している放課後子ども教室については、地域ボランティアが高齢化しており、新型コロナウイルスのリスクを考慮した結果、令和3年度も、事業を中止せざるを得なかった。引き続き慎重な対応が求められる。</p> <p>また事業再開にあたっては地域ボランティアの協力が不可欠であり、新たな地域ボランティアの募集も含め、必要な人材をどう確保していくのかが課題となる。また学習支援事業についても同様に、各小学校へ派遣する学生ボランティアの確保が課題である。</p>
今後の方向性	<p>PTAやすこやかネットなどに協力をお願いし、新たな地域ボランティアの確保に努めていく。また、地域ボランティアが少ない学校については、他校からの応援体制を検討するなど事業の実施に必要な人員を確保するための工夫が必要である。また学習支援事業については、大学にて対面での説明会を実施し、学生ボランティアの確保に努める。</p>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 6	市民文化・スポーツの推進

事務事業	スポーツ指導普及事業														
事業目的	市民の誰もが参加できる健康・体づくり及び社会体育指導者の養成に重点をおき、スポーツの振興を図る。														
事業概要	スポーツ推進委員協議会による事業、ジュニアスポーツリーダースクール、体力測定会や各種指導者の派遣などの事業を行う。														
令和3年度 の主な 実施内容	<p>【トレーニング講習会参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随時講習会:189人</li> </ul> <p>【体力測定会参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回/年:16人</li> </ul> <p>【ジュニアスポーツリーダースクール (JSL)】</p> <p>例年、小学4年生～中学3年生までの児童・生徒を対象に年10回(内2回は、宿泊を含む)の講座を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となったスクールが多く、3回の事業実施となりました。参加者数:延べ99人</p> <p>【ジュニアスポーツリーダースクール参加者数(延べ人数)推移】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>616</td> <td>588</td> <td>324</td> <td>120</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>					平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	616	588	324	120	99
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度											
616	588	324	120	99											
															
	【ジュニアスポーツリーダースクール活動写真】														
点検・評価	子どもの自立を促すカリキュラムに基づく、地域のリーダーとなる子どもを育成するための事業であるため、保護者からの期待も高く参加者も継続参加が多くみられる。														
課題	受益者負担で事業を実施していることから、少子化等で参加者数が少なくなると事業実施が困難になる可能性がある。														
今後の 方向性	ジュニアスポーツリーダースクールの新規受講者数、年間参加者数、体力測定会の参加者数が減少傾向にあるため、今後参加者数等を増加させ、事業を継続していくための検討が必要であると考え。														

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 6	市民文化・スポーツの推進

事務事業	市民スポーツ活動推進事業																														
事業目的	市民の体力向上を目的として、一人でも多く参加できる事業・大会を開催するとともに、社会体育団体及び指導者の育成を図る。																														
事業概要	各種スポーツ団体等に委託するなどにより、市民体育大会、市民スポーツレクリエーション祭、市民マラソン大会、大阪府総合体育大会やドリームフェスティバルの開催などの事業を実施する。																														
令和3年度の主な実施内容	<p><b>【各大会等参加者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民体育大会:13 競技:2,187 名</li> <li>スポーツレクリエーション祭:291 名</li> <li>市民マラソン大会:中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止により)</li> <li>ドリームフェスティバル:中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止により)</li> </ul> <p><b>【市民体育大会開会式の様子】</b></p>  <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民体育大会</td> <td>4,307</td> <td>4,938</td> <td>4,229</td> <td>3,007</td> <td>2,187</td> </tr> <tr> <td>スポーツレクリエーション祭</td> <td>725</td> <td>817</td> <td>1,122</td> <td>278</td> <td>291</td> </tr> <tr> <td>市民マラソン大会</td> <td>511</td> <td>455</td> <td>493</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>ドリームフェスティバル</td> <td>2,683</td> <td>2,159</td> <td>2,366</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【参考：各大会参加者数推移】</b></p>		H29	H30	R1	R2	R3	市民体育大会	4,307	4,938	4,229	3,007	2,187	スポーツレクリエーション祭	725	817	1,122	278	291	市民マラソン大会	511	455	493	中止	中止	ドリームフェスティバル	2,683	2,159	2,366	中止	中止
	H29	H30	R1	R2	R3																										
市民体育大会	4,307	4,938	4,229	3,007	2,187																										
スポーツレクリエーション祭	725	817	1,122	278	291																										
市民マラソン大会	511	455	493	中止	中止																										
ドリームフェスティバル	2,683	2,159	2,366	中止	中止																										
点検・評価	 <p>各種スポーツ団体の積極的な活動により、市民がスポーツを身近に楽しむ場が多くあり、また、委託している各スポーツ大会でも、市民のスポーツ活動を促進しており、事業自体は充実した内容のものとする。</p> <p><b>【市民マラソン大会の様子】</b></p>																														
課題	新型コロナウイルス感染症のまん延により、イベント、大会が中止、延期、参加者数の減となっている。																														
今後の方向性	新型コロナウイルスの感染防止、対策を行いながら市民体育大会の開催や各種スポーツ・レクリエーション関係団体の事業や大会等を支援するとともに、健康の増進につなげることを目的に市民スポーツ活動の推進を行いたい。																														

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	文化財管理事業
事業目的	市内の文化財等について維持管理及び指導等を行うことにより、歴史的資源の保全を図る。
事業概要	市内の文化財等の維持管理業務(除草・剪定、看板修繕等)、指定文化財所有者等への指導、指定文化財に関する事務、文化財保護審議会の開催等。
令和3年度 主な実施 内容	<p><b>【文化財や文化財説明看板等の維持管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が管理する文化財において、除草・樹木剪定を実施した。</li> <li>・破損した河内ふるさとの道看板の復旧修理。</li> <li>・お亀石古墳、オガンジ池瓦窯跡に設置している解説看板を改修した。</li> <li>・お亀石古墳の史跡指定地内で発生した崩落法面を回復旧した。</li> <li>・彼方丸山古墳と隣接地の境界に設置しているフェンスの老朽化部分を取り替えた。</li> </ul> <p><b>【文化財保護審議会の開催等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会を2回開催し(うち1回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、書面開催)、令和3年度の文化財課実施事業を報告した。また美具久留御魂神社が所有している「朝鮮通信使淀川御座船図絵馬」を、新たな市指定文化財候補として諮問した。</li> <li>・文化財保存活用地域計画策定に向けて、協議会委員を選任したが、新型コロナウイルス感染拡大により、第一回協議会の開催は令和4年度に延長することになった。</li> </ul>
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次計画に基づき文化財解説看板の修繕を実施することができた。</li> <li>・文化財の周辺環境の維持管理や、文化財に付随する設備を修理できた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度に文化財保存活用地域計画の文化庁認定を受けるため着実に作業をすすめていくとともに、策定後は計画に基づき、地域一体で計画的に文化財の保存・活用に取り組んでいくことが課題である。</li> </ul>
今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に所在する文化財の状況の把握を目的とした基礎データ作成を着実に進める必要がある。また特に保存と活用が望まれる文化財を、市指定文化財候補として検討する。</li> <li>・令和4年度より文化財保存活用地域計画策定協議会を開催し、住民、民間団体、学識者、関係部局と市内の文化財の保存・活用方法について協議を重ね、地域全体で計画の策定を進める。</li> </ul>



## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	埋蔵文化財調査事業
事業目的	開発等により破壊される可能性のある埋蔵文化財を発掘調査し、記録保存する。又、国指定史跡である新堂廃寺跡等を整備する。
事業概要	文化財保護法に基づく発掘届出の受付事務(通知を含む)、富田林市開発指導要綱に基づく指導・協議、立会・事前・試掘・本調査業務、国指定史跡新堂廃寺跡整備事業等。
令和3年度の主な実施内容	<p>【埋蔵文化財発掘調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の発掘事務等(届出の受付、開発指導要綱に基づく指導・協議)を行った。また、個人住宅等の建設に伴う発掘調査を国庫補助事業として実施するとともに、民間開発、公共事業に伴う調査を実施した。</li> <li>(届出 165 件※公共事業に伴う通知 24 件、本発掘調査 5 件、試掘調査 12 件)</li> <li>・埋蔵文化財調査報告書の刊行に向けて作業を進めた。</li> </ul> <p>【史跡新堂廃寺跡の整備に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新堂廃寺等整備委員会を令和3年7月に開催し、各委員と事務局で今後の保存活用計画を進めていく上での課題を確認した。</li> </ul>
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護法に基づき埋蔵文化財発掘調査に係る一連の業務を行い、開発等により破壊される可能性のある遺跡の記録保存を進めることができた。</li> <li>・史跡新堂廃寺跡の整備に向けて、整備委員会を開くことができ、保存活用計画について学識者から意見をいただく場となった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発掘現場が重複すれば、現場での指導業務を優先することになる為、遺物等の整理作業を行う時間を確保することが課題である。</li> <li>・発掘調査で出土した遺物を保管する施設が不足しており、整理作業に支障をきたしている。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護法に基づき埋蔵文化財発掘調査に係る一連の業務を確実に遂行するため、業務の一部委託等の検討を行う。</li> <li>・史跡新堂廃寺跡の整備については、現状の課題解決に向けた方策の検討を継続し、市内の文化財全体を対象とした文化財保存活用地域計画が文化庁に認定された後、新堂廃寺跡の保存活用計画の策定に取り組んでいく。</li> </ul>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	寺内町保存事業
事業目的	富田林寺内町の歴史的町並みの保存を推進し、地元組織や関連団体と連携しながら、町全体の活性化を図る。
事業概要	富田林寺内町内の景観照明灯や施設等の維持管理を始め、町並み保存に係る業務、寺内町の活性化に向けた普及啓発事業、伝統的建造物群保存審議会の開催等。
令和3年度の主な実施内容	<p><b>【寺内町の町並み保存】</b></p> <p>富田林寺内町内の施設や景観照明灯等の適正管理に努めた。経年劣化で老朽化した伝統的建造物の住宅説明看板の改修を行った。(大阪府指定文化財仲村家住宅、越井家住宅)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>老朽化した2号消火栓の木製化粧ボックスについて、令和3年度に11基分の修理が完了した。これで、令和元年から3ヶ年計画で進めてきた全32基の修理工事が完了した。</p> <p>また、地元関連団体の会議や企画事業に定期的に参加し、地域の課題や今後のまちづくりについて情報交換を行った。</p> <p><b>【伝統的建造物群保存審議会の開催】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、本審議회를8月、1月に書面にて開催した。また、専門部会を1月、3月にオンライン開催とし、伝建地区保存等に関する重要事項について審議した。</p> <p><b>【全国伝統的建造物群保存地区協議会の開催】</b></p> <p>全国伝統的建造物群保存地区協議会の総会が兵庫県丹波篠山市で開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。</p>

点検・評価	・富田林寺内町内の施設や景観照明灯等の維持管理を適切に行うことで、富田林寺内町の住環境保全を図ることができた。
課題	富田林寺内町では、建造物の老朽化や建造物所有者の世代交代による空き家問題などがあり、このままでは歴史的町並みが失われる可能性がある。そのためにも地元関連団体等と連携して対策を講じる必要がある。
今後の方向性	引き続き地元関連団体等と連携しながら、空き家バンク事業や町家利活用の検討など、富田林寺内町の活性化事業を推進し、富田林寺内町の歴史的町並み保存の推進と、町全体の活性化を図る。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	歴史資料保存活用事業
事業目的	市民の文化財保護意識を高めるため、埋蔵文化財や古文書、民俗資料等の歴史資料の整理・保存及び活用を図り、文化財の普及啓発に努める。
事業概要	埋蔵文化財センターの管理、歴史資料の整理・保存、歴史資料を活用した展示・講演会等の普及啓発事業等。
令和3年度の主な実施内容	<p><b>【歴史資料の整理保存・活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料の整理保存を進めるとともに、各種文化財に対する照会への回答や資料貸出しを行った。</li> <li>・普及啓発事業として、令和2年度に構築した「富田林市文化財デジタルアーカイブ(愛称:おうちdeミュージアム)」に市指定文化財仲村家文書、龍泉寺庭園、富田林寺内町マップを追加した。</li> </ul> <p><b>【埋蔵文化財センターの管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財センターの管理を適正に行うとともに、展示室見学で9件、資料調査で4件の依頼を受け入れた。</li> </ul>
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「富田林市文化財デジタルアーカイブ」に新たな情報を追加することができた。</li> <li>・課題である大量の歴史資料の効率的な資料管理や保管環境については、限られた公共施設の中で保管スペースの確保が困難なことなど改善されていない。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、本市が保管する大量の歴史資料について、庁舎内の他数ヶ所の公共施設で分散保管しているが、どの施設も満杯状態であることから、効率的な資料管理とはいえない。</li> <li>・また庁舎建替に伴う仮移転もあり、歴史資料の保管環境(保存処理、温度、湿度など)を改善し、適正管理できる将来的な保管場所の確保に向けて取り組む必要がある。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料の活用に供するためにも、年次的に資料の整理を進めるとともに、恒久的に保管するための施設が必要である。</li> <li>・腐食や劣化が進む歴史資料の保存に向けた方策の検討を進める。</li> <li>・「富田林市文化財デジタルアーカイブ」のコンテンツ内容をさらに充実させるとともに、学校等での活用について検討を進める。</li> </ul>




## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	寺内町整備事業																		
事業目的	富田林寺内町内における伝統的建造物の修理及び一般建造物の修景に対し補助を行うことによって、歴史的町並みを保全し景観形成を推進する。																		
事業概要	富田林寺内町内の建築物等の修理・新築・改築等における現状変更行為に関する受付及び許可、並びに、内容相談及び技術指導。																		
令和3年度の主な実施内容	<p>富田林寺内町内の建築物等について、修理・新築・改築などの現状変更行為に関する受付、相談及び技術指導を行うとともに、伝統的建造物や一般建造物の修理・修景補助を実施した。</p> <p>現状変更行為の受付・許可:12件、修理修景補助4件(内、伝統的建造物群保存地区保存事業費補助4件)</p> <p>【参考：寺内町地区の修理・修景実績推移】 <span style="float:right">単位：件</span></p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富田林伝統的建造物群保存地区保存事業</td> <td>3</td> <td>2(11)</td> <td>2(7)</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>街なみ環境整備事業</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>( )内は平成30年9月の台風21号による災害復旧事業件数を示す。</p>	事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	富田林伝統的建造物群保存地区保存事業	3	2(11)	2(7)	2	4	街なみ環境整備事業	2	1	1	1	0
事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度														
富田林伝統的建造物群保存地区保存事業	3	2(11)	2(7)	2	4														
街なみ環境整備事業	2	1	1	1	0														
点検・評価	伝統的建造物の修理事業について出来るだけ多くの修理事業を実現するため積極的に所有者と調整を行い実施することができた。																		
課題	富田林寺内町地区では、建物所有者の高齢化や空き家問題などが顕在化しており、このままでは、歴史的町並みが失われる可能性がある。そのためにも修理・修景事業を速やかに実施することは、歴史的町並み保全対策の一つとなる。																		
今後の方向性	<p>富田林寺内町の文化財的価値向上を図り、後世へ良好な歴史的町並みを継承していくため、今後も継続して修理・修景事業に対する相談に丁寧に応じ、当事業を速やかに実施していく。</p> 																		

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3)環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	文化財施設管理事業																												
事業目的	富田林寺内町内に位置する4施設(重要文化財旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち交流館・じないまち展望広場)と登録有形文化財旧田中家住宅を含む5施設の維持管理・運営と活用を図る。																												
事業概要	富田林寺内町4施設:指定管理者による一括管理運営 旧田中家住宅:文化財施設として無料公開。施設貸出受付やイベント開催等。																												
令和3年度 の主な 実施内容	<p>【指定管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の維持管理、施設公開及び施設貸出業務等。</li> <li>市指定事業の実施による集客・賑わい創出、歴史・文化等に関する普及啓発。</li> <li>広報・宣伝活動(ホームページ、SNSの開設等)</li> </ul> <p>【旧田中家住宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の維持管理、施設公開及び施設貸出業務等。</li> <li>雑かざり展示等の利用者向上のためのイベント実施。</li> </ul> <p>【参考：施設入館者推移】 <span style="float:right">単位：人</span></p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重要文化財 旧杉山家住宅</td> <td>9,783</td> <td>8,941</td> <td>7,833</td> <td>4,532</td> <td>6,518</td> </tr> <tr> <td>じないまち交流館</td> <td>28,648</td> <td>29,139</td> <td>23,336</td> <td>10,380</td> <td>12,732</td> </tr> <tr> <td>旧田中家住宅</td> <td>7,456</td> <td>6,973</td> <td>5,552</td> <td>3,497</td> <td>4,668</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	重要文化財 旧杉山家住宅	9,783	8,941	7,833	4,532	6,518	じないまち交流館	28,648	29,139	23,336	10,380	12,732	旧田中家住宅	7,456	6,973	5,552	3,497	4,668
施設名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																								
重要文化財 旧杉山家住宅	9,783	8,941	7,833	4,532	6,518																								
じないまち交流館	28,648	29,139	23,336	10,380	12,732																								
旧田中家住宅	7,456	6,973	5,552	3,497	4,668																								
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>富田林寺内町4施設一括での指定管理運営を導入し、2年目となる今年度は、引き続きコロナ禍においてイベントの人数制限など感染対策を図りながらではあるが、SNS等で情報発信し、積極的に事業を開催することで施設の活用が図られた。また、富田林寺内町をまもり・そだてる会との連携協力により伝統的建造物の内部見学ツアーが実施され、歴史的町並み保全の普及啓発に努められた。</li> <li>旧田中家住宅においては、維持管理を適正に行ったことで、施設利用者の安全性、快適性の確保はもとより、文化財施設の継承に繋がった。</li> </ul>																												
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>富田林寺内町への来訪者数が減少傾向にあることから、指定管理者と連携・協力しながら、リピーターの確保や交流人口の増加に向けた様々な取り組みを検討していく必要がある。</li> </ul>																												
今後の 方向性	<p>歴史的町並み保全や来訪者の増加など富田林寺内町の目的に応じた事業を展開していく。また、旧田中家住宅については、地域活性化を視野に入れた活用案の実現性を検討していく。</p>																												

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：公民館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	中央・東・金剛公民館事業
事業目的	市民の多様な学習意欲に対応するために主催講座の質・量などの充実を図るとともに、学習を通じた交流や自主的な学習への支援・援助を行い、活気ある地域社会を構築するための事業を展開する
事業概要	公民館主催講座の実施 公民館クラブ連絡会の育成 公民館施設管理業務
令和3年度の主な実施内容	<p>【公民館主催講座・事業の計画・実施並びに学習状況の提供】</p> <p>3館合計で71講座を実施した。大学や専門機関等をはじめ、公民館クラブや公民館特技登録者など地域の人材を講師として活用し、多彩な事業を行い、参加者から好評を得た。</p> <p>「アートおどろく公民館」が通算50回を迎えた。子どもたちだけでなく大人にも普段、触れる機会がない質の高いアートの世界が身近になり、ものづくりの楽しさを伝えることができた。</p> <p>【公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導】</p> <p>人権週間記念講演会として「あふれてたのはやさしさだった」を行い、受刑者たちが社会の一員として「やり直しのきく社会」を目指して何ができるのかを地域の課題に取り組んだ。</p> <p>■中央公民館講座 「クリアファイルで仮面をつくろう！」</p> 
点検・評価	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月下旬から6月下旬にかけて各公民館を臨時休館としたことから利用者が減少し、主催事業についても多くの講座等が中止・延期になった。また、クラブ連絡会との共催事業で毎年開催している「公民館まつり」は規模を縮小して実施し、動画配信によるクラブ発表会を行うという新しい試みを実施した。</p> <p>公民館の運営としては、施設の消毒や3密対策を徹底し感染予防に努めるとともに、主催事業は定員数を減らしたり大きな会場に場所を移したりして対面による講座を開講し、またYouTubeを使って公民館講座の様態を配信するなど、コロナ禍においても社会教育事業の継続に努めた。</p>

<p>課題</p>	<p>施設面では、施設・設備・備品の老朽化が進む中、安全のための計画的な点検・整備・更新と施設のバリアフリー化が早急な課題である。</p>
<p>今後の方向性</p>	<div data-bbox="384 320 783 636" data-label="Image"> </div> <p>公民館としては、新型コロナウイルスによって多大な影響を受けたが、スマートフォンなどの情報通信技術を用いながら、社会教育の継続に努めたい。</p> <p>各公民館に整備した公衆無線LAN環境を活かして、YouTubeによる講座動画配信をはじめ、オンラインでも可能な学びの機会を充実させていく。</p> <p>施設予約システムは令和4年12月(令和5年1月利用分)から実施予定である。</p> <p>■金剛公民館人権週間記念講演会 「あふれてたのはやさしさだった」</p>



## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：公民館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	公民館運営審議会事務
事業目的	公民館が各種社会教育事業を実施するにあたり、その運営が有効適切に行われることを目的とする。
事業概要	公民館運営審議会は、館長の諮問機関として、館長からの諮問に対して答申を行うほか、公民館が行う各種事業、及び公民館運営全般について調査・審議を行う。
令和3年度の主な実施内容	公民館運営審議会を開催 7月と3月の年2回開催。第1回では、前年度事業報告、第2回では次年度事業等の審議を行った。
点検・評価	近年の運営審議会では、公民館で行う各種事業の報告及び計画だけでなく、公民館が抱えている課題、諸問題について活発な意見が出されるようになってきている。
課題	運営審議会においては、現状の年2回(事業報告・事業計画)が定例化されている。今後に向けての課題の整理や方向性について、審議していただく必要がある。
今後の方向性	公民館運営審議会は、館長の諮問機関であり、公民館の課題、諸問題について審議し、今後に向けた公民館のあり方、事業の方向性を提示していただくことを目的とした会議である。委員の知識向上等に寄与する研修会・先進地視察も検討していく。 また、各公民館に無線LAN環境が整備されることを契機として、新型コロナウイルス感染症拡大時においてはZoomなどによるオンライン運営審議会も検討する。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート


所管課：図書館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	中央図書館事業・金剛図書館事業
事業目的	図書館法に基づき、生涯学習の拠点施設として、赤ちゃんから高齢者まですべての市民に役立つ図書館資料や情報を収集し、提供する。
事業概要	市民の生活や活動の支援、生涯学習支援、学校図書館支援、地域文化情報・歴史情報の収集・蓄積・発信、図書館協議会及び活動団体との連携・協働。また、「第2次富田林市子ども読書活動推進計画」の推進、乳幼児、児童、高齢者、障がい者、外国人の利用者サービスの充実、近隣図書館間の広域相互利用の推進など市民の読書環境の整備に努める。
令和3年度の主な実施内容	<p>・令和3年度も緊急事態宣言発出を受け、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4月25日から臨時休館となり、中央・金剛図書館で予約図書等の受渡しと自動車文庫巡回のみの対応となった。予約受付を図書館のウェブサイトおよび電話で行い、お渡し窓口を、中央図書館はガレージの軒下、金剛図書館は正面玄関自動扉前に設定して感染防止を図るとともに、休館中も図書館資料が利用できるよう運用した。</p> <p>・緊急事態宣言解除後、6月22日から中央図書館・金剛図書館の開館再開。臨時休館前と同様の感染防止対策(通常時よりも座席を大幅に撤去、返却資料の拭き取り消毒)を図った。あわせて、利用者にも手指の消毒や、マスク着用などについて定期的に館内放送し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の協力をよびかけた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出を自粛する児童生徒に向け、富田林子ども文庫連絡会作成の民話紙芝居『こんじゃく橋』の朗読動画を、YouTube で公開。</p> <p>・幼稚園つつじ号は開始から3年目となり、コロナ禍にあっても屋外での利用のため例年通り巡回できた。幼少期からの読書体験が豊かな心をはぐくむよう、幼稚園教諭と連携して年齢に応じた資料を準備した。</p> <p>・令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策のため中止した子ども向きの行事を、感染の状況を見計らい令和3年に繰り延べて開催した。例年春に開催している「リサイクル工作」を夏休みに開催、「なつやすみとしょかんおたのしみ会」は春休みに開催。いずれも定員を例年の半数に設定せざるをえなかった。</p> <p>・不特定多数の市民と接触する児童向きの体験行事「やってみよう図書館の仕事」と、室内での発声を伴う「おとなのための朗読会」、「いきいき音読教室」など新型コロナウイル</p>



<p>令和3年度の主な実施内容</p>	<p>ス感染のリスクを伴う行事は令和2年度に引き続き中止。</p> <p>・前年度中止した、学校を訪問して行う新小学1年生のオリエンテーションは、令和3年度には16校中11校で受入れていただき再開。訪問後は、オリエンテーションを受け興味を持って来館したとの児童の声が多数あった。</p>																																
<p>点検・評価</p>	<p>【資料編 P67：「図書館 利用状況」参照】</p> <p>・コロナ禍により令和3年4月から6月に再び臨時休館となる。新型コロナウイルス感染防止対策のための行動制限なども影響が続き、利用者数が通常時の実績まで回復しなかった。</p> <p>・予約に関しては、臨時休館中の予約資料のみの貸出期間が約2か月間あったこと、臨時休館明けも、接触機会を減らすため WEB 予約を利用されたことなどが要因となり、受付数が過去最高の受付件数となった。</p> <p>【参考：年度別予約件数】 <span style="float:right">単位：件</span></p> <table border="1" data-bbox="403 757 1409 969"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>中央</th> <th>金剛</th> <th>東分室</th> <th>自動車文庫</th> <th>館内 OPAC</th> <th>We b OPAC</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>15,694</td> <td>19,662</td> <td>460</td> <td>461</td> <td>4,493</td> <td>70,417</td> <td>111,187</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>15,241</td> <td>18,324</td> <td>451</td> <td>414</td> <td>3,253</td> <td>76,691</td> <td>114,374</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>18,884</td> <td>21,759</td> <td>756</td> <td>782</td> <td>3,034</td> <td>89,122</td> <td>134,337</td> </tr> </tbody> </table> <p>・録音図書等の延べ貸出人数の減少は、よくご利用いただいた方の高齢化や転出のため。</p>	年度	中央	金剛	東分室	自動車文庫	館内 OPAC	We b OPAC	合計	令和元年度	15,694	19,662	460	461	4,493	70,417	111,187	令和2年度	15,241	18,324	451	414	3,253	76,691	114,374	令和3年度	18,884	21,759	756	782	3,034	89,122	134,337
年度	中央	金剛	東分室	自動車文庫	館内 OPAC	We b OPAC	合計																										
令和元年度	15,694	19,662	460	461	4,493	70,417	111,187																										
令和2年度	15,241	18,324	451	414	3,253	76,691	114,374																										
令和3年度	18,884	21,759	756	782	3,034	89,122	134,337																										
<p>課題</p>	<p>継続課題として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館を利用していない市民への働きかけ</li> <li>・「第2次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づく、関係課との推進会議による連携により、次期第3次計画策定において、新たな数値目標を設定し更なる子どもの読書活動の推進</li> <li>・地域行政資料の保存・活用のために書庫の拡大</li> <li>・建物全体が経年劣化しており、利用者の安全、安心の確保が必要</li> <li>・非来館型の利用を促進するための方策(電子書籍等)について、導入自治体の利用状況や費用対効果も含め継続して検討中。</li> <li>・災害時の避難所運営など、緊急時の対応に備え、職員・会計年度任用職員の事務分担を見直し、モチベーション維持を図れるように指揮系統を確立する必要がある</li> </ul> 																																
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次富田林市子ども読書活動推進計画策定</li> <li>・自動車文庫の効率的な運行を進めるため、自動車文庫委員会(BM委員会)において継続し検討</li> <li>・高齢者サービスについて、委員会を継続し検討</li> <li>・読書バリアフリー法を受け、本が読みづらい利用者のため拡大読書器の設置を検討</li> <li>・地震対策として、令和3年度より設置している、書架からの図書落下防止の対応を引き続き進める</li> </ul>																																

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：図書館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	図書館資料整備事業
事業目的	図書館法の理念に基づき、生涯学習の拠点施設として、収集方針に基づいた幅広い分野の図書館資料を収集し、整え、あらゆる年代の市民に情報の提供に努める。
事業概要	社会の様々な変化に伴い、高度化、多様化する市民の学習意欲、利用者のニーズに対応するため、収集方針に基づき地域行政資料や様々な分野の資料の収集に努め、学校への支援、広域利用にも対応し、赤ちゃんから高齢者まですべての市民に新鮮で、楽しく、役立つ資料を提供する。
令和3年度の主な実施内容	・令和3年度は、一般図書 7,716 冊、児童図書 3,099 冊、視聴覚資料 270 点、合計 11,085 点を購入。
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる世代の市民に対し、幅広い分野の資料を収集し情報提供に努めることが継続できた。</li> <li>・図書館で役目を終えた図書は、市民会館に設けたリサイクル図書コーナーの図書として活用した。</li> <li>・図書館で役目を終えた児童書等については、保育園・幼稚園・小学校等の関係部署に、リサイクル図書として提供し活用していただいた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づき、更に児童に役立つ図書を充実させていく必要がある。</li> <li>・日本語を母語としない市民への多言語の資料収集。</li> <li>・市民に喜ばれ役立つ資料を限られた予算内で購入するため職員の選書能力を高める。</li> <li>・電子書籍について、導入自治体の利用状況や費用対効果も含め継続検討する。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書活動を推進するため、赤ちゃん絵本や児童図書の充実、学校支援のための調べ学習に役立つ図書の充実に努める。</li> <li>・利用が増えている高齢者の利用促進のため大活字本、朗読 CD などの充実に努める。</li> <li>・資料検討委員会で購入決定した学習まんがの利用について検証し、さらなる受入に向けて継続して検討していく。</li> </ul>


## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：図書館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3)学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	ブックスタート事業										
事業目的	「子ども読書活動の推進に関する法律」「富田林市子ども読書活動推進計画」に基づいた子どもの読書環境の整備を進めると同時に、乳幼児期の段階から保護者に対する読書啓発を図り、将来の子どもの豊かな心の成長を育む読書習慣につなげることを目的とする。										
事業概要	子育て支援の一助として、健康づくり推進課と連携し、4か月児健康診断時に乳児に絵本を配布し、同時に保護者に対して、乳幼児との絵本を通したふれあいの大切さと必要性を伝え、図書館の利用案内、フォローアップ事業の「あかちゃんのおはなし会」の紹介をする。										
令和3年度の主な実施内容	<p>・4か月児健診で赤ちゃんにプレゼントする絵本を配布。令和3年度実績:516冊配布</p> <p>【参考：ブックスタート配布絵本冊数推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>715 冊</td> <td>638 冊</td> <td>618 冊</td> <td>598 冊</td> <td>516 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>・フォローアップ事業として「あかちゃんのおはなし会」を実施 参加人数:38回実施、230人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/25～7/18と、1/20～3/21のあかちゃんのおはなし会は中止)</p>	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	715 冊	638 冊	618 冊	598 冊	516 冊
平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度							
715 冊	638 冊	618 冊	598 冊	516 冊							
点検・評価	<p>・コロナ禍でのブックスタート事業となり、乳幼児サービスボランティアによる1組ずつの読み聞かせは実施できず、図書館職員からの絵本配布や説明となった。</p> <p>・保健センターでの4か月健診以外に、かかりつけ医で受診される方もあるため、健康づくり推進課との連携で、案内文書には図書館でも絵本をプレゼントできることを記載いただいている。令和3年度も前年度に引き続き直接受取りに来られる方が増えた。コロナ蔓延のため個別受診を選択されたためと考えられる。</p> <p>・絵本は「いないいないばあ」「がたんごとんがたんごとん」「にんじん」の3種類から1冊を選択していただき、保護者に絵本を通した言葉かけや親子のふれあいの大切さを伝えることができた。</p>										
課題	<p>・乳幼児サービスボランティアの育成・確保のため、乳幼児ボランティア育成講座を継続していく必要がある。</p> <p>・「あかちゃんのおはなし会」は、6か月から1歳未満児と1歳児の実施に加え、金剛図書館で実施している2歳児対象の部を中央図書館でも開催を検討する必要があるが、会場確保の面で厳しい状況である。</p>										

<p>今後の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布用絵本は、3種類から1冊選択してプレゼントしており、親子で楽しめる絵本を選ぶように心がけるとともに、毎年価格・内容を含め絵本の見直しをしていく必要がある。</li> <li>・参加を見合わせている、乳幼児サービスボランティアの復帰について、感染症の状況を見極めて保健センターとの調整を進める。</li> </ul>	
--------------------	---	---

### (3)点検・評価 未実施事業

昨年度の点検・評価報告書(令和2年度実績)で点検・評価シートを作成したが、今回の報告書で作成しなかった事業及びその理由を記載しています。

#### ○小学校管理事務・中学校管理事務(所管課:教育総務課)

令和3年度に点検・評価に該当する整備が無かったため。(令和2年度は、国のGIGAスクール構想に基づき、学校通信ネットワークをはじめとしたICT機器整備を実施。)

#### ○小学校防災機能強化事業・中学校防災機能強化事業(所管課:教育総務課)

令和3年度に点検・評価に該当する整備工事が無かったため。(平成28年度より実施していた体育館の非構造部材の耐震化工事が令和2年度に完了。)

#### ○総合的な学習の時間推進事業(所管課:教育指導室)

「総合的な学習の時間推進事業」は、教科と同じく指導されている「総合的な学習の時間」に特化した個別事業であったため、より効果的な運用を行うよう総合的な事業である「教育研究事業」に統合し、点検・評価を実施。

#### ○幼稚園講師配置事業(所管課:教育指導室)

「幼稚園講師配置事業」は、講師配置に特化した事業であったため、幼児教育の充実と子育て支援活動の推進を図る「幼稚園教育推進事業」に事業統合し、点検・評価を実施。

#### ○園外学習扶助事業(所管課:教育指導室)

「園外学習扶助事業」は、舞台芸術を鑑賞など、園児の情操を養う事業であり、より効果的な運用を行うよう「幼稚園教育推進事業」に事業統合し、点検・評価を実施。

#### ○文化財施設整備事業(所管課:文化財課)

令和3年度に該当する整備工事が無かったため。(令和2年度は、寺内町センターの空調入れ替え工事を実施。)

## 「教育に関する事務の点検・評価報告書（令和3年度実績）」への所見

大阪教育大学教授 森田英嗣

### 1. はじめに

平成29年度からの10年間について策定されたまちづくりの未来像である「総合ビジョン」、および必要な施策を示した「総合基本計画」に基づいて展開されている諸事業について、令和3年度の実績を、ご報告いただいた。

全体として、写真や図表が随所に配置されていて、市民への説明が視覚的にわかりやすく工夫された報告書であることが印象に残った。各事業は、市民の理解、市民との協働が前提であることを考えると、極めて重要な形であると思われた。

以下、事業ごとに所見を述べたい。

### 2. 所管課ごとの事業について

#### A. 教育総務課

個別施策3「学校園における教育の充実」のもとで「小学校施設改修事業・中学校施設改修事業・幼稚園施設改修事業」が行われ、施設・設備の老朽化改修による教育環境の改善の取り組みとともに、災害時の避難場所としても安全性確保の取り組み等が進められていることが確認できた。今後も国の補助金等を積極的に活用しつつ、効率的な取り組みを進めていただきたい。

#### B. 教育指導室

個別施策3「学校園における教育の充実」のもとで9つの事業が展開され、学校教育の下支えが多角的に図られている。「きめ細かな指導推進事業」では、今回も全国学力・学習状況調査では小学校から中学校へのプロセスにおいて大阪府の平均を上回るようになるなど、注目すべき成果が報告されている。引き続き少人数編成、小中連携により、その効果を確実なものにしていきたい。

「生徒指導事業」ではSSWやSCの活用、学習サポーター、学校支援チームの派遣がなされ、多角的な生徒指導上の課題の未然防止に向けた取り組みが充実している。事業の成果についてのエビデンスは示しにくいと思われるが、急速に進む外部環境の変化に対応するためにも、何らかの形で事業の評価指標は考えられて良いと思われた。

「学校教育運営事業」では、学校運営に係る取り組みとともに、教職員のストレスチェックや産業医面談など労働安全衛生環境に目を向けた取り組みも行われている。学校教育の担い手である教職員の健康や安全の確保は、すべての事業の基礎になるので、今後も適切に進めていただきたい。

「教育コミュニティ推進事業・地域による学校教育支援事業」では、地域教育協議会の運営や学校ボランティアの支援をおこなっている。「保護者や地域住民が学校運営に参画する『学校運営協議会(コミュニティスクール)』の導入」に関する検討の必要性が述べられているが、これまでの成果を踏まえた検討が期待される場所である。

「教育研究事業」では、「カリキュラムマネジメント調査研究(小金台小学校)」や「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム(第一中学校)」「小中一貫教育に係る研究(明治池中学校・小金台小学校)」の各取り組みに成果が見られる。これらの成果を、中教審答申にある「個別最適な学びと共同的な学びの充実」に向けた取り組みにも、是非とも活かしていただきたい。

「小学校教育用パソコン管理事業・中学校教育用パソコン管理事業」では、ハード面での ICT 環境の整備に加え、情報モラル教育の充実等ソフト面での整備にもバランス良く力が注がれていることが確認できた。今後も、「情報活用能力」が「学習の基盤となる資質・能力」の一つに位置づいたことを踏まえ、一層の充実を期待したい。

「幼稚園教育推進事業」では、幼児教育の充実が子育て支援とともに推進されている。幼児期への投資は、その後の教育の改善という点で効果的であることが知られている。今後も、策定予定の「幼保あり方基本方針」に基づいた取り組みの発展を期待したい。

「小学校支援学級等就学事業・中学校支援学級等就学事業」では、小中学校支援学級に在籍する障がいのある子どもたちへの教育と支援の充実のために、「介助員」「介添人」「特別介助員」を配置し、また「扶助費」の支給により、保護者に対する経済的負担軽減が行われている。近年、ニーズが高まっているとのことだが、引き続き、質を担保しつつ取り組みを進めていただきたい。

「幼稚園肢体不自由児等就学事業」では、介助員や特別介助員を配置し、市立幼稚園のミッションを達成しようとしていることが確認できた。今後も研修を充実させるなど、質向上の取り組みを続けていただきたい。

### C.学校給食課

個別施策 3「学校園における教育の充実」のもとで2つの事業が展開されている。「学校給食管理運営事業・幼稚園給食事業」では、食育の機会を提供しつつ、安全安心な小学校・幼稚園給食の提供をおこなっていることが確認できた。今後も、食物アレルギー対応食の提供など、安全面に配慮した取り組みを継続していただきたい。

「中学校給食事業」では、「生徒考案献立」「調理員おすすめ献立」の提供などの工夫を通して食への関心を高め、安心安全な給食の提供をおこなっている。平成 30 年来、50%を超える年間喫食率を維持し、確実な定着を見せている。今後も、校区ごとに特徴のあるライフスタイルなどにも配慮しつつ、よりきめ細やかな対応を期待したい。

### D.生涯学習課

個別施策 4「未来の担い手の育成」のもとで、二つの事業がなされている。「社会教育団体補助事業」では、社会教育関係団体の健全な発展を図るとともに、富田林市 PTA 連絡協議会への委託的事業補助が実施されている。後者については、「府 PTA 協議会からの情報提供や助成などが分担金に見合っていない」との課題の指摘が見られるが、他の市町村 PTA 協議会とも連携しつつ、上部団体との関係を再整理する段階にあるものと思われる。

「青少年団体補助事業」では、子ども会育成連絡協議会活動経費が支出されている。子ども会加入者の減少に加え、子ども会育成連絡協議会の指導者の高齢化が課題として指摘されて



いる。今後も、実態を把握しつつ、持続可能な形を模索していただきたい。

生涯学習課では、さらに、個別施策 6「市民文化・スポーツの推進」のもとで、3 つの事業が展開されている。「文化振興基金運用事業」では、「文化振興基金」を活用し、助成金の交付を通して、市民文化の振興が図られている。R4に策定する「富田林市文化芸術振興ビジョン」にも基づきながら、今後も、申請額と予算額のバランスを保ちつつ、持続可能な形を模索していただきたい。

「スポーツ指導普及事業」では、市民の健康・体づくり及び社会体育指導者の養成を視野に入れたスポーツの振興が図られている。継続参加者が多く見られる一方、少子化で参加者数の減少も見られるとのことで、継続のためには、引き続き参加者の裾野を広げる工夫が必要であるように思われた。

「市民スポーツ活動推進事業」では、市民の体力向上を目的として、スポーツ機会を提供するとともに、社会体育団体及び指導者の育成が図られている。「新型コロナウイルス感染症のまん延により、イベント、大会が中止、延期、参加者数の減となっている」との課題が指摘されている。引き続き、Withコロナ時代における市民の体力の向上策の構築に向けて取り組みが必要であるように思われる。

生涯学習課では、これらに加えて、個別施策2「子ども・子育て支援の充実」のもとで「放課後子ども教室推進事業」が展開されている。ここでは、地域ボランティア、学生ボランティアの協力を得て、「子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる教育コミュニティづくり」が推進されている。地域ボランティアの高齢化、学生ボランティアの確保の難しさが課題としてあげられているが、充実した取り組みを持続させるために、これらの点で、市民参加型の工夫が求められているように思われた。

## E.文化財課

個別施策 29「自然・歴史環境の保全」のもとで6 つの事業が展開されている。「文化財管理事業」では、文化財等の歴史的資源の保全をおこなっている。「文化財保存活用地域計画」を策定し、文化庁認定を目指すとのことで、より一層の取り組みの強化となると期待される。計画の策定は、ステークホルダーの方々との情報共有、コミュニケーションの機会としても活用していただきたい。

「埋蔵文化財調査事業」では、文化財保護法や、富田林市開発指導要綱に基づいた取り組みの実施が確認できた。埋蔵文化財発掘調査については、業務の一部委託等の検討を行うとのことであるが、より確実な事業実施を目指していただきたい。

「寺内町保存事業」では、歴史的町並みの保存、地元と連携した町全体の活性化を図ることを目的としており、寺内町の施設や環境保全の取り組みが確認できた。地元との連携は、将来の本事業の成否を左右する重要な要因だと思われるので、引き続き充実させていただきたい。

「歴史資料保存活用事業」では、歴史資料の整理・保存及び活用と、文化財の普及啓発の取り組みがなされている。「富田林市文化財デジタルアーカイブ」の形でも充実が図られており、充実した取り組みになっていることが確認できた。学校での活用も目指されるということで、期待したい。

「寺内町整備事業」では、建造物の修理及び修景に対し補助を行い、歴史的町並みを保全し景観形成が推進されている。後世への良好な歴史的町並みの継承のため、現状変更行為の適切な管理が行われていることが確認できた。建物所有者の高齢化や空き家問題が顕在化してき

ているとの課題があげられているが、これまでと異なる新しい対応が必要になる可能性があると思われる。

「文化財施設管理事業」では、重要 5 施設の維持管理・運営・活用が行われている。伝統的建造物の内部見学ツアーなど、普及啓発のための取り組みの実施も確認できた。寺内町への来訪者の減少傾向が課題としてあげられているが、学校を含む地域との連携を一層推進するとともに、若い世代に関心を持ってもらうためには、新しいメディアの活用などの検討も、これまで以上に推進する余地があると思われる。

## F. 公民館

個別施策 5「生涯を通じた学びの推進」のもとで 2 事業が展開されている。「中央・東・金剛公民館事業」では、市民の多様な学習意欲に対応するための支援・援助の取り組みがなされている。YouTube によるオンライン講座の配信など、with コロナ時代を見据えた取り組みも進められている。昨今、大学でも、ネットを活用して、いつでも、どこでも学ぶことのできる Open Education の試みも実施されるようになってきている。時代にあった社会教育のあり方の探究をこれからも継続していただきたい。

「公民館運営審議会事務」では、館長の諮問機関として、答申を行うほか、公民館が行う各種事業、及び公民館運営全般について調査・審議が行われるとのことであるが、具体的な活動の様子が報告書から伺いにくいことに加え、富田林市 web ページを検索しても、議事録のようなものは見当たらなかった。差し支えない範囲でということになるが、もう少し市民への説明がなされて良いと思われる。

## G. 図書館

個別施策 5「生涯を通じた学びの推進」の下で 3 つの事業が行われている。

「中央図書館事業・金剛図書館事業」では、全ての市民に役立つ資料の収集と提供が行われている。コロナ禍への対応もあり、非来館型のサービスの推進に尽力され、資料の予約受付件数も過去最高になったとのこと、素晴らしい成果につながっている。これらの新基軸は、after コロナの時代においても、継続できるサービスの新しい形態であり、大きな財産となると思われる。

「図書館資料整備事業」では、収集方針に基づいて、あらゆる市民のニーズに応えるための幅広い資料の収集が目指されている。日本語を母語としない市民、電子書籍の活用など、時代に即した対応も考えられていることが確認できた。引き続き、マイリティにも目を向けた公共施設としての資料収集を貫いていただきたい。

「ブックスタート事業」では、乳幼児とその保護者向けに読書環境の整備を進めている。コロナ禍が大きな影響となりかねない事業であるが、引き続き、ボランティアの方々の協力を得つつ、きめ細やかなサービスをお願いしたい。

以上

## 「教育に関する事務の点検・評価報告書（令和3年度実績）」への所見

大阪工業大学 教務部教育センター・特任教授 堂之本 篤弘

### 1 はじめに

富田林市の令和3年度の施策を対象とした「教育に関する事務の点検・評価報告書」を、第三者の視点で詳細に検討した後、市教育委員会にて、令和3年度実績を各課から説明後、質疑・意見交換があり、これらをもとに所見を述べたい。

富田林市では、平成29年度からの10年間、めざすべきまちの将来像等を掲げた「総合ビジョン」、並びに将来像の実現に向けて必要な施策を示す「総合基本計画」を策定している。また、令和2年9月には第2期富田林市教育大綱を策定し、「夢と希望が輝き、笑顔あふれるまち 富田林」を基本理念としたうえで、6つの基本方針を重点的に取り組んでいる。

「教育に関する事務の点検・評価報告書」については、最初に市教育委員会の活動概況を示し、教育委員会の実態が確認できる。続いて、総合基本計画での施策体系を示し、各事務事業についての目的、概要、該当年度の主な実施内容を記載したうえで、「点検・評価」を行い、「点検・評価」から抽出された課題等についても子細に考察し、その対応策等、今後の方向性を見ることができ、毎年出される本報告書により、担当所管の施策の進捗状況が把握でき、地域住民に対する説明責任を果たしていると考えられる。

### 2 所管課ごとの事業について

「教育に関する事務の点検・評価報告書」の所管課別の主要な事務事業を抜粋し、評価すべき事務事業について、意見を述べたい。

#### (1) 教育総務課

個別施策 3「学校園における教育の充実」では、市内小・中学校の管理運営、及び施設の維持管理業務を行い、安全性を最優先課題とし、良好な教育環境に努めている。今後も国の学校施設環境改善交付金等の財源の確保に努め、安全な教育環境の確保と長寿命化改修の実施が望まれる。

#### (2) 教育指導室

個別施策 3「学校園における教育の充実」で、「個に応じたきめ細かな指導」を実現し、35人以下の学級編成を実現している。その結果、安心して学ぶことができる環境づくりや学力向上・規範意識の確立などが評価できる。令和3年度の「全国学力・学習状況調査」の結果も改善している。「個に応じたきめ細かな指導」の充実と併せて、市で研究されている小中一貫教育の観点からの事業活用の検討により、より良い教育システムの研究も望まれる。また、スクール・ソーシャルワーカーを重点3小学校に配置し、児童生徒や保護者への支援が進んでいる。今後も虐待や貧困等の子どもを取り巻く環境に起因する課題の解決に向けて、SSWを含め、学校支援チームの活用を充実させて欲しい。令和4年度に先行して開設された小中一貫教育校に係る令和3年度の研究

では、これまでの教育実践と ICT とを組み合わせさせた教育を推進するなどの研究成果を市全体の教育の向上に努めてほしい。

また、市内小中学校では、令和 2 年度より整備された小中学校の ICT 環境を効果的に活用し、子どもたちの情報活用能力の育成を図っており、教職員のスキルアップ研修の充実により、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善が望まれる。

さらに、幼稚園においても 10 園に 21 名の教員を配置し、短時間講師の制度を創設するなど人材確保に努めている。

そして、小中学校の支援学級および幼稚園へ介助員を配置するなど障がいのある子ども達への安全に活動できる環境整備に努めている。

### (3) 学校給食課

個別施策 3「学校園における教育の充実」で、学校給食管理運営事業や中学校給食事業において、小学校の給食が栄養面からだけでなく、心身の発達も支えていることが確認できる。特に、中学校では自校での調理を行っており、食の面から教育を支えており、今後も継続されることが望まれる。中学校給食の喫食率は、50%以上を維持しているが、学校別に比較すると格差がある。今後も引き続き、食の安全で安心かつ質の高い給食事業の展開に努めてほしい。

### (4) 生涯学習課

個別施策 4「未来の担い手の育成」で、社会教育団体補助事業、青少年団体補助事業、個別施策 6「市民文化・スポーツの推進」で、文化振興基金運用事業、スポーツ指導普及事業、市民スポーツ活動推進事業、個別施策 2「子ども・子育て支援の充実」で、放課後子ども教室推進事業を展開し、地域文化の振興や地域・社会教育の面から子育て環境を支える事業が行われている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、大会が中止になったり、また、指導者の高齢化や参加者減少などの状況により持続可能性が課題となっている。今後に向けて、必要な見直しを行いながら、市民ニーズに対応した将来プランの作成が急がれる。

### (5) 文化財課

個別施策 29「自然・歴史環境の保全」で、文化財管理事業、埋蔵文化財調査事業、寺内町保存事業、歴史資料保存活用事業、寺内町整備事業、文化財施設管理事業など数多くの事業が展開されている。歴史的な財産は、本市の何物にも変え難い宝であり、市民のプライドであり、また、貴重な教育資源でもある。しかし、出土した遺物保管施設の不足など整理作業に支障をきたしている。今後も伝統的文化財を護り、市民に自然・歴史環境の大切さと魅力を一層浄化されることを期待する。その結果として、本市の住民としての誇りと民力の向上に寄与できることが切に望まれる。

### (6) 公民館

個別施策 5「生涯を通じた学びの推進」で、公民館の役割は大きく、その活動は他市と比べてもハイレベルにあると言える。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から活動が縮小されたが、You Tube によるクラブ発表会など新しい試みが実施された。オンラインによる申込で簡便化を図ったり、聴講が

できるなど利便性向上を図るなど、今後も公民館活動が維持・発展できるように努めてほしい。生涯学習の場として市民の快適な学びを確保し、学び続けることができるよう、今後も諸事業の計画に努めてほしい。「公民館運営審議会」の審議でも、持続可能な公民館活動の提言に期待したい。

#### (7) 図書館

個別施策 5「生涯を通じた学びの推進」で、図書館事業、図書館資料整備事業、ブックスタート事業の展開において、子育て世代支援としてフォローアップ事業「あかちゃんのおはなし会」を実施するなど、新たな市民利用の機会と利用時間の利便性向上、予約図書を受取場所や曜日の拡大、館内環境の整備等々積極的な方策が順調に推移している。今後も図書館諸事業がさらに進み、市民の豊かな読書活動が図られることを期待したい。

### 3 全体を通して

「点検・評価報告書」令和3年度実績について、各所轄課の施策に所見を述べてきたが、全体を通して印象に残った点を追記したい。

教育を取り巻く環境は、グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に加えて、子どもの貧困に起因する教育格差など、その困難さを増している。今回の市教育委員会よりの説明・質疑等を通して、次の4つのポイントが印象的であった。

- ① 教育のICT環境の整備      ② 「小中学校一貫教育」の実施・研究
- ③ 富田林市の文化遺産      ④ 教職員や地域教育支援の人材育成

国は、新たな学びを支えるため児童生徒向けの1人1台端末と通信ネットワークを整備している。ICTの活用で、経済的格差を越えた学習活動が可能となるなど、教育環境を劇的に変化させるツールとなるかもしれない。学校だけでなく、家庭でも基礎基本知識の習得、思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上にも繋げることも可能となる。今後の市での活用の進捗を楽しみにしている。

また、2(2)教育指導室の施策でも記したように、新しい教育システムとして「小中学校一貫教育」の先行実施と研究が進められている。市内各中学校単位で研究がなされ、これまで解決できなかった教育課題の解消を支えるシステムとなる可能性に期待したい。

そして、市内の豊富な伝統的文化財は貴重な教育資源でもある。恵まれた文化遺産を小中学校との協力のもと、広く活用、維持管理が進むことを願っている。

さらに、教育を支える教職員、活動を支える地域人材の高齢化が進んでいるが、大学や学校なども広く巻き込み、持続可能な人材育成に今後も努めてほしい。

最後に、この「点検・評価報告書(令和3年度実績)」を、市民の皆様公表し、説明責任を果たす資料とするだけでなく、行政と市民が一体となって、今後も課題の解決に向かう礎となることを望む。

## ≪ 資料編目次 ≫

1.教育委員会所管施設	
(1)市立学校園等	52
(2)生涯学習・社会教育施設	53
2.富田林市の人口推移	54
3.年度別児童・生徒・園児数の推移	54
4.就学援助	55
5.富田林市奨学金	55
6.全国学力・学習状況	55-56
7.小学校、中学校の不登校の状況	56
8.スクールカウンセラーの相談件数	56
9.中学校給食・喫食率の推移	57
10.すばるホール施設利用状況	57
11.きらめき創造館利用状況	58
12.放課後子ども教室参加状況	59
13.出前講座開催状況	59
14.成人式参加状況	60
15.市民文化祭参加状況	61
16.スポーツ施設利用状況	62
17.スポーツ事業参加状況	63
18.市内の文化財	64
19.公民館利用状況等	65-66
20.図書館利用状況	67

# 1.教育委員会所管施設

## (1) 市立学校園等

[小学校]

令和3年5月1日現在

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち 運動場面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	児童数 R3.5現在
富田林小学校	常盤町16番20号	M05/05/14	12,998	6,355	4,921	723	348
新堂小学校	若松町四丁目5番4号	M06/10/01	18,531	7,848	7,817	1,365	324
喜志小学校	木戸山町1番36号	M06/02/25	10,328	4,692	4,212	673	384
大伴小学校	南大伴町一丁目2番20号	M38/05/11	12,183	6,964	4,843	725	398
彼方小学校	大字彼方411番地	M06/05/01	16,066	6,081	4,861	720	206
錦郡小学校	錦織南一丁目8番1号	M05/08/15	10,833	5,101	4,315	743	219
川西小学校	新家一丁目3番1号	M26/04/01	15,469	6,609	4,997	725	275
東条小学校	大字龍泉566番地	M05/05/01	12,766	4,942	2,970	636	73
高辺台小学校	高辺台三丁目1番1号	S43/01/08	15,993	6,646	6,154	703	159
久野喜台小学校	久野喜台一丁目16番1号	S44/04/01	19,803	9,156	5,659	758	318
寺池台小学校	寺池台四丁目3番1号	S45/01/01	17,558	6,693	6,189	754	558
伏山台小学校	伏山二丁目1番1号	S52/04/01	18,581	6,990	3,904	727	241
喜志西小学校	梅の里四丁目6番1号	S53/02/22	17,184	9,412	3,019	725	240
藤沢台小学校	藤沢台二丁目3番1号	S55/04/01	26,224	13,448	5,242	726	434
小金台小学校	小金台三丁目11番1号	H01/04/05	24,275	11,181	6,443	919	474
向陽台小学校	向陽台五丁目1番1号	H02/04/01	26,754	9,774	5,793	919	328

[中学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち 運動場面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	生徒数 R3.5現在
第一中学校	寿町一丁目3番5号	S22/04/01	25,372	13,326	8,115	983	317
第二中学校	新家一丁目4番1号	S25/04/01	22,458	13,508	5,915	1,213	294
第三中学校	大字佐備15番地	S46/04/01	25,889	12,351	6,002	850	322
金剛中学校	寺池台一丁目1番1号	S43/01/08	30,253	14,481	7,914	1,018	414
葛城中学校	藤沢台三丁目4番1号	S55/04/01	33,310	17,177	6,198	1,018	205
喜志中学校	梅の里一丁目7番1号	S58/04/01	21,781	8,134	5,178	795	353
藤陽中学校	向陽台三丁目4番1号	S61/04/01	29,400	15,890	5,837	1,182	261
明治池中学校	小金台二丁目11番1号	H02/04/01	26,586	13,507	5,001	968	218

[幼稚園]

園名	所在地	創立年月日	園地面積 (㎡)	園舎面積 (㎡)	園児数 R3.5現在
富田林幼稚園	常盤町15番1号	T03/10/01	2,554	906	39
新堂幼稚園	若松町四丁目7番1号	S28/04/10	3,411	942	32
喜志幼稚園	木戸山町1番36号	S29/04/10	1,541	421	33
大伴幼稚園	南大伴町一丁目2番5号	S29/04/01	2,340	660	22
板持幼稚園	西板持町八丁目7番43号	S28/02/04	1,755	584	休園
彼方幼稚園	大字彼方325番地の1	S49/04/01	2,522	441	20
錦郡幼稚園	錦織南一丁目2番10号	S29/04/20	1,957	424	17
川西幼稚園	新家一丁目3番2号	S29/04/10	2,912	727	22
東条幼稚園	大字龍泉566番地	S49/04/10	539	243	休園
伏山台幼稚園	伏山二丁目1番2号	S52/04/11	4,821	700	12
喜志西幼稚園	梅の里四丁目7番1号	S55/04/10	1,700	462	休園
青葉丘幼稚園	加太二丁目8番14号	S31/04/01	2,884	970	31
津々山台幼稚園	津々山台一丁目20番9号	H05/04/12	2,000	667	36

[給食センター]

施設名	建設年月	敷地面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)
学校給食センター	H30/02	6,491	3,753

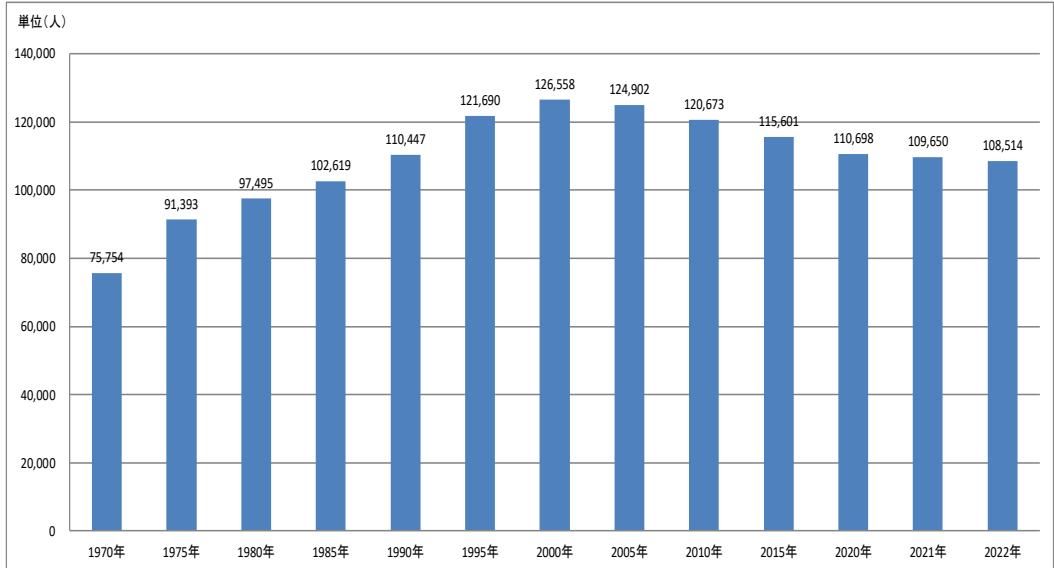
## (2) 生涯学習 ・ 社会教育施設

施設名	建設年月	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	主 要 な 施 設
すばるホール	H03/10	10,136	18,799	ホール(806席)、小ホール、プラネタリウム レセプションホール、音楽練習室、各種会議室
市民会館 (レインボーホール)	S50/03 H01/03	9,511	9,625	ホール(400席)、多目的ホール(700席)、各種会議室
富田林市きらめき創造館 (T o p i c)	H29/06	887	1,765	自習室、スタジオ、グループ活動室 スタディールーム、ワーキングルーム、交流スペース
旧杉山家住宅 (重要文化財)	S62/09	1,432	720	
寺内町センター	H03/03	320	301	休憩室、展示室、会議室
じないまち交流館	H18/03	322	316	交流サロン、情報コーナー、和室、会議室、防災倉庫、防火水槽
じないまち展望広場	H22/03	611	117	小広場、休憩室、防火倉庫、防火水槽
埋蔵文化財センター	H03/03	第一中学校敷地内	819	収蔵室、展示室、復元室、資料室、事務室、洗浄室、会議室
旧田中家住宅	H24/03	770	233	和室1、和室2
中央公民館	S51/03	3,495	1,776 (図書館含む)	ホール、講座室、栄養室、和室
中央図書館	S51/03	中央公民館内	764	閲覧室、書庫、朗読会議室
金剛図書館	S58/02	3,800	1,876 (公民館含む)	閲覧室、書庫、朗読会議室
金剛公民館	S58/02	金剛図書館内	903	ホール、講座室、美術室、実習室、和室
東公民館	S56/03	1,738	1,129	ホール、講座室、工作室、和室
中央公民館喜志分館	H12/04	レインボーホール内	237	美術室、講座室、和室
中央図書館東分室	S56/06	東公民館内	57	図書室
市民総合体育館	S55/10	13,154	4,782	主競技場、剣道場、柔道場、卓球室、トレーニングルーム、会議室
総合スポーツ公園	H06/03	136,462	—	多目的競技場、野球場、テニスコート(8面) ゲートボール場、わんぱく広場、展望台、ジョギングコース
青少年スポーツホール	S46/03		1,069	競技場
青少年教育キャンプ場	S46/03	4,958	—	管理棟、調理場、炊事場
テニスコート中野	S52/08	13,703	—	ハードコート3面、クレーコート5面
金剛東	S56/04	1,385	—	アンツーカー2面
金剛	S53/11	680	—	アンツーカー1面
津々山台	S63/07	1,600	—	アンツーカー2面
津々山台第2	H08/04	1,540	—	ハードコート2面
グラウンド金剛中央	S44/10	7,830	—	軟式野球、少年野球、ソフトボール
金剛東	S56/04	7,630	—	軟式野球
喜志ブル横	S40/12	5,646	—	少年サッカー、女子ソフトボール
喜志(河川敷)	S53/09	48,761	—	軟式野球、ソフトボール2面
川西(河川敷)	S53/11	27,688	—	軟式野球、ソフトボール4面、ゲートボール8面
西板持(河川敷)	S56/04	37,946	—	少年野球、ソフトボール3面
石川(河川敷)	H19/04	12,120	—	サッカー1面、ゲートボール1面
若松東	H22/04	8,765	—	少年野球、ソフトボール1面
中野2号公園	S58/02	3,600	—	ソフトボール1面
中野3号公園	S58/01	5,680	—	少年野球、ソフトボール1面
錦織多目的	H27/04	7,751	—	グラウンドゴルフ他
ゲートボール場 彼方	不明	710	—	ゲートボール1面
津々山台	H10/04	1,080	—	ゲートボール2面
グラウンドゴルフ 川西(河川敷)	H22/04	8,660	—	グラウンドゴルフ2面
市民プール(アクアパークきらめき)	H27/04	3,483	—	25mプール、幼児用プール



## 2.富田林市の人口推移

年	人口
1970年	75,754
1975年	91,393
1980年	97,495
1985年	102,619
1990年	110,447
1995年	121,690
2000年	126,558
2005年	124,902
2010年	120,673
2015年	115,601
2020年	110,698
2021年	109,650
2022年	108,514



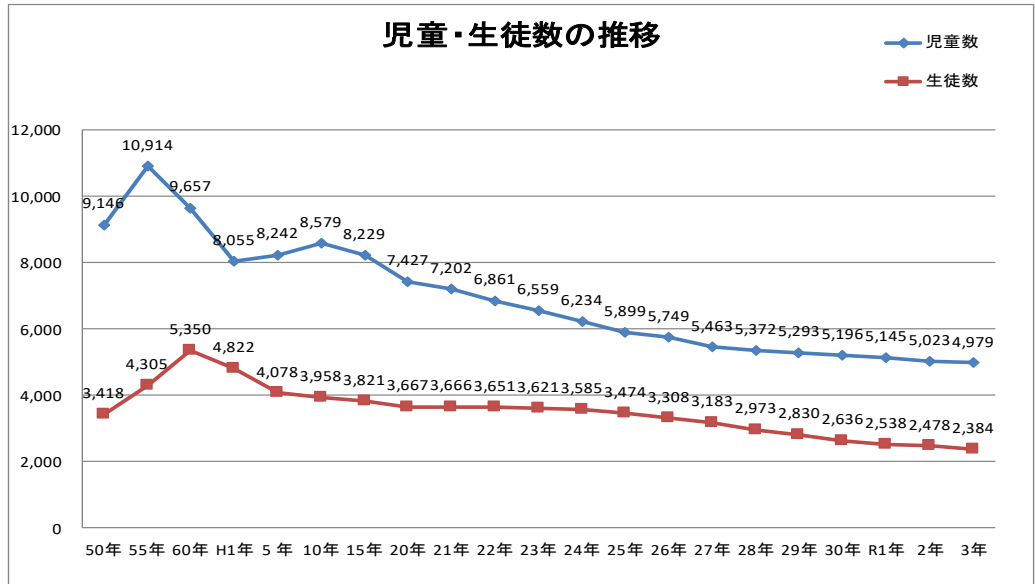
※1970年～2000年 国税調査

※2005年以降 富田林市人口表（各年3月末時点）

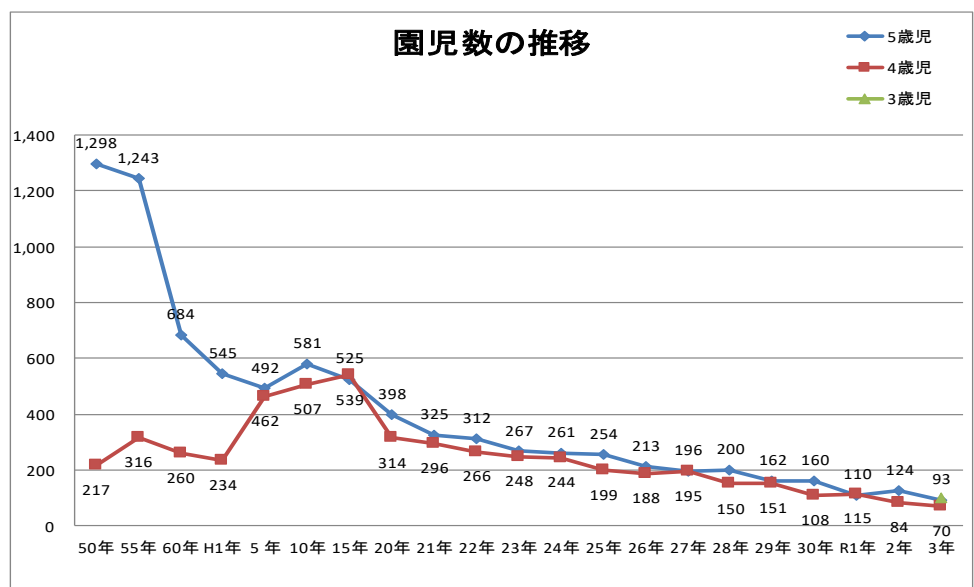
## 3. 児童・生徒数・園児数の推移

※各年 5月1日現在

年	児童数	生徒数
50年	9,146	3,418
55年	10,914	4,305
60年	9,657	5,350
H1年	8,055	4,822
5年	8,242	4,078
10年	8,579	3,958
15年	8,229	3,821
20年	7,427	3,667
21年	7,202	3,666
22年	6,861	3,651
23年	6,559	3,621
24年	6,234	3,585
25年	5,899	3,474
26年	5,749	3,308
27年	5,463	3,183
28年	5,372	2,973
29年	5,293	2,830
30年	5,196	2,636
R1年	5,145	2,538
2年	5,023	2,478
3年	4,979	2,384



年	5歳児	4歳児	3歳児
50年	1,298	217	
55年	1,243	316	
60年	684	260	
H1年	545	234	
5年	492	462	
10年	581	507	
15年	525	539	
20年	398	314	
21年	325	296	
22年	312	266	
23年	267	248	
24年	261	244	
25年	254	199	
26年	213	188	
27年	196	195	
28年	200	150	
29年	162	151	
30年	160	108	
R1年	110	115	
2年	124	84	
3年	93	70	101



#### 4.就学援助

就学援助認定者数（要保護＋準要保護）

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	1,475	1,402	1,319	1,366	1,165	1,067
中学校	874	766	739	699	679	626
合計	2,349	2,168	2,058	2,065	1,844	1,693

就援率

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	27.5%	26.5%	25.4%	26.6%	23.2%	21.4%
中学校	29.4%	27.1%	28.0%	27.5%	27.4%	26.3%
合計	28.1%	26.7%	26.3%	26.9%	24.6%	23.0%

#### 5.富田林市奨学金

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
支給者（人）	123	121	120	118	160	118
申請者数（人）	263	248	219	206	166	210

#### 6.全国学力・学習状況

全国学力・学習状況調査 国語Aの正答率 ( ) 大阪府平均

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	69.0(71.3)	70.2 (72.1)	67.7 (68.1)	60.0(60.0)	—	61.6(63.2)
中学校	74.2(73.5)	77.3(75.3)	76.1(74.7)	71.0(70.0)	—	63.9(62.0)

全国学力・学習状況調査 国語Bの正答率 ( ) 大阪府平均

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	54.8(55.4)	54.3(54.5)	52.4 (52.2)		—	—
中学校	66.2(63.3)	72.5(69.1)	61.7(59.4)		—	—

注：R1年度より、A B区分がなくなったため国語A欄に記載

全国学力・学習状況調査 算数・数学Aの正答率 ( ) 大阪府平均

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	79.1(76.9)	77.7(77.8)	62.6 (63.4)	65.7(66.4)	—	68.7(69.7)
中学校	64.0(61.7)	66(63.7)	67.7(65.2)	60.0(58.1)	—	57.2(55.5)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Bの正答率 ( ) 大阪府平均

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	46.0(45.8)	44.8(44.6)	51.3 (50.6)		—	—
中学校	44.9(43.1)	47.6(46.3)	47.4(45.7)		—	—

注：R1年度より、A B区分がなくなったため算数・数学A欄に記載

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」 (抜粋)

「人の役に立つ人間になりたい」

( ) 大阪府平均

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	94.5(92.9)	92.7(91.9)	95.2 (94.6)	94.1(94.7)	—	95.7(95.0)
中学校	93.9(91.4)	89.2(89.7)	95.2(93.2)	93.9(93.0)	—	94.6(94.4)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」 (抜粋)

「自分には、よいところがあると思いますか」

( ) 大阪府平均

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	78.3(72.9)	78.0(74.9)	79.6(81.3)	76.8(77.9)	—	75.9 (74.3)
中学校	65.1(64.9)	69.0(65.6)	79.7(72.7)	72.0(68.4)	—	73.3(72.5)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」 (抜粋)

「H29までは何事にも、失敗をおそれず挑戦する」

( ) 大阪府平均

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	80.1(74.3)	83.0(75.8)		79.6(77.8)	—	70.1(68.3)
中学校	74.6(69.0)	72.2(69.7)		72.7(69.0)	—	63.9(64.6)

7.小学校、中学校の不登校の状況

(千分率)

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	7.1	7.7	10.6	6.8	9.6	9.4
中学校	44.1	43.5	52.4	54.4	57.3	66.6

8.スクールカウンセラーの相談件数 (のべ人数)

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
小学校	859	765	856	925	1,019	2,058
中学校	2,519	2,293	2,490	3,070	5,990	6,603

## 9. 中学校給食 喫食率の推移

	喫食率 (%)					開始時期	R3年度実施 日数 (日)	生徒数 (人) R3年5月1日
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
葛城中学校	60.3	62.6	60.7	59.3	55.3	H19年1月	158	205
明治池中学校	68.5	78.4	80.9	80.8	78.2	H22年1月	151	218
第三中学校	46.2	45.3	44.6	50.8	49.1	H22年1月	152	322
喜志中学校	55.4	55.2	54.6	53.0	55.0	H22年2月	156	353
第二中学校	34.4	34.1	33.1	36.8	39.9	H22年3月	158	294
藤陽中学校	48.3	55.9	60.4	63.7	65.6	H23年1月	160	261
第一中学校	31.3	28.6	33.1	35.5	31.7	H23年2月	148	317
金剛中学校	55.8	58.2	58.8	55.1	53.8	H23年2月	160	414
全 校	49.0	50.6	51.7	53.2	52.5	—	187	2,384

## 10. すばるホール施設利用状況

(利用率 = 利用日数 / 利用可能日数)

項 目	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度		
	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数	件数	利用率	利用者数
ホール	151	53.9%	54,438	153	53.0%	51,533	145	52.0%	44,806	100	44.3%	13,440	147	63.7%	26,787
小ホール	374	93.2%	23,804	369	93.2%	24,052	340	90.8%	21,899	184	61.0%	7,751	228	68.8%	11,868
ビブスホール	133	47.7%	45,138	122	43.8%	41,870	139	48.9%	24,223	81	37.0%	12,417	117	55.2%	19,019
会議室1	290	80.3%	4,406	309	80.7%	4,363	327	79.7%	4,386	200	63.3%	2,249	201	66.4%	1,982
会議室2	563	85.8%	8,662	537	87.3%	7,943	491	84.0%	8,448	210	59.5%	2,144	224	61.0%	2,415
会議室3	225	64.4%	8,609	178	51.9%	6,985	187	52.3%	7,496	76	28.1%	1,220	93	34.9%	1,807
リハーサル室	624	94.8%	28,799	616	93.2%	27,868	614	92.0%	28,678	251	71.0%	9,047	321	80.7%	11,668
展示室	140	49.5%	18,385	143	49.0%	18,202	140	49.6%	18,103	70	28.4%	2,906	83	33.6%	6,651
加チャーム	330	78.7%	5,834	350	84.9%	5,476	337	81.8%	5,373	200	62.5%	2,726	238	75.4%	2,937
音楽練習室	308	71.7%	5,148	290	69.9%	4,222	297	69.6%	4,088	36	21.8%	287	101	32.0%	622
合 計	3,138	72.0%	203,223	3,067	70.7%	192,514	3,017	70.1%	167,500	1,408	47.7%	54,187	1,753	57.2%	85,756



### 11.きらめき創造館利用状況（平成29年9月オープン）

項目	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
スタディルーム1	301	1,423	290	3,119	175	1,177	284	1,662
スタディルーム2	142	557	146	520	15	43	0	0
グループ活動室A	81	1,334	64	1,084	92	516	111	726
グループ活動室B	30	306	27	204	32	165	53	270
グループ活動室A+B	501	8,567	404	7,453	502	7,058	398	5,772
グループ活動室C	240	886	169	657	137	334	165	383
ワーキングルーム	296	2,548	312	3,617	310	1,929	229	1,386
スタジオ	611	4,678	682	4,830	0	0	515	2,856
交流スペース	77	1,386	15	808	6	158	4	25
自習室	-	26,623	-	27,074	-	12,502	-	14,701
合計	2,279	48,308	2,109	49,366	1,269	23,882	1,759	27,781

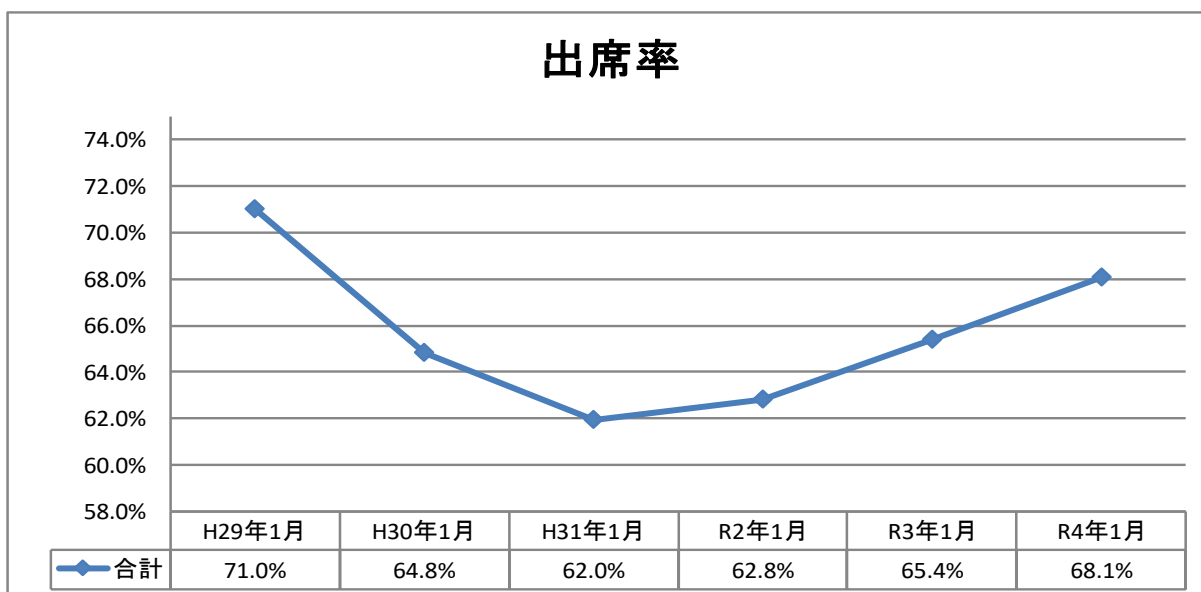
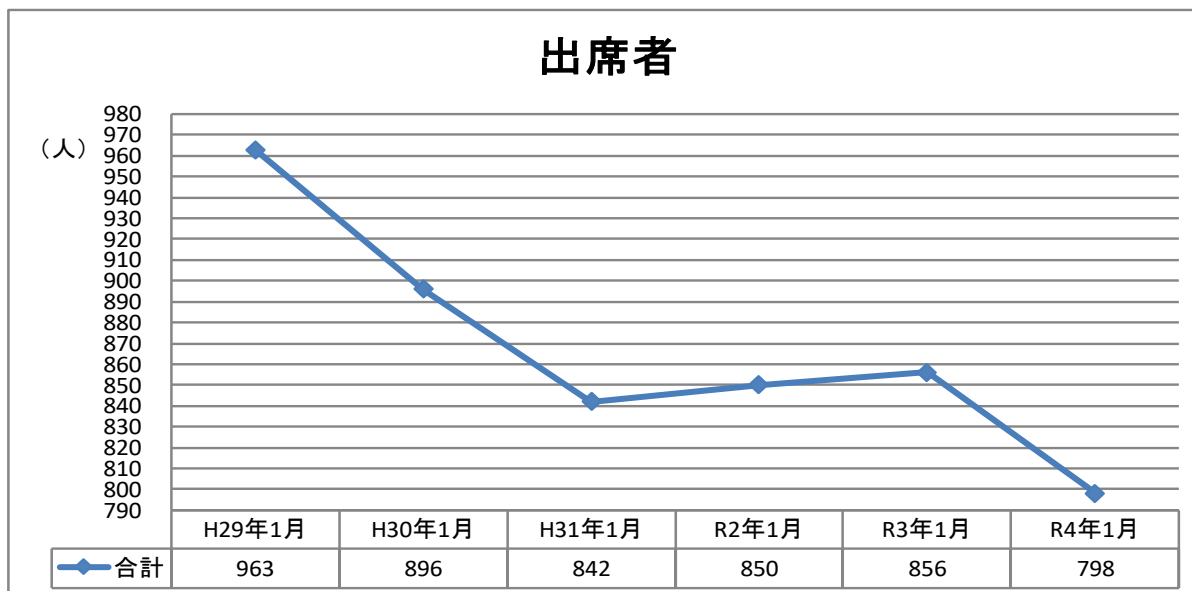
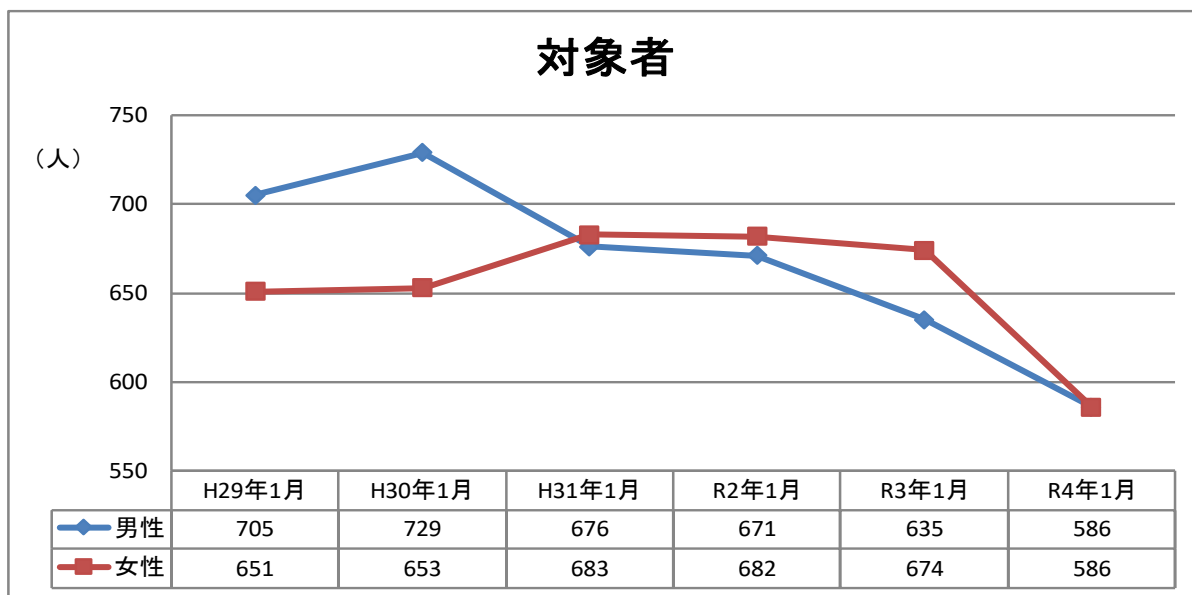
## 12.放課後子ども教室 参加状況

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
富田林	回数	29	27	23	22	24	0	0
	参加児童数	607	677	629	594	738	0	0
	在籍児童数	310	316	323	306	327	338	348
新堂	回数	9	9	10	8	7	0	16
	参加児童数	222	258	206	213	212	0	179
	在籍児童数	457	449	412	388	357	321	324
喜志	回数	10	10	6	8	7	0	33
	参加児童数	369	351	282	207	126	0	507
	在籍児童数	457	449	439	421	401	397	384
大伴	回数	17	14	16	15	14	0	77
	参加児童数	516	495	624	620	612	0	3,083
	在籍児童数	465	449	449	434	409	411	398
彼方	回数	21	13	11	13	13	0	0
	参加児童数	684	479	435	528	667	0	0
	在籍児童数	258	256	236	211	216	209	206
錦郡	回数	16	15	15	17	15	0	14
	参加児童数	1,254	1,618	690	823	621	0	221
	在籍児童数	301	285	278	250	237	242	219
川西	回数	18	23	22	14	16	0	0
	参加児童数	860	906	748	380	412	0	0
	在籍児童数	398	368	342	318	314	283	275
東条	回数	30	29	30	30	25	0	0
	参加児童数	423	419	531	491	322	0	0
	在籍児童数	129	110	99	91	91	77	73
高辺台	回数	11	12	12	11	8	0	21
	参加児童数	356	571	507	366	290	0	322
	在籍児童数	166	162	158	161	173	157	159
久野喜台	回数	16	16	18	17	13	0	5
	参加児童数	639	820	859	764	802	0	84
	在籍児童数	297	305	312	309	301	293	318
寺池台	回数	23	23	21	18	16	0	8
	参加児童数	1,145	1,317	1,324	1,188	824	0	74
	在籍児童数	467	492	518	537	538	559	558
伏山台	回数	22	22	21	14	10	0	0
	参加児童数	717	729	597	412	300	0	0
	在籍児童数	312	308	300	288	280	260	241
喜志西	回数	17	21	24	25	23	0	0
	参加児童数	378	398	582	584	462	0	0
	在籍児童数	304	293	283	283	263	250	240
藤沢台	回数	41	28	28	31	31	0	0
	参加児童数	1,241	1,066	884	1,313	1,123	0	0
	在籍児童数	426	416	416	437	455	446	434
小金台	回数	26	28	21	14	13	0	0
	参加児童数	1,221	1,462	1,194	927	811	0	0
	在籍児童数	502	493	487	499	494	478	474
向陽台	回数	42	44	36	29	19	0	0
	参加児童数	1,114	1,158	926	892	642	0	0
	在籍児童数	214	221	241	263	289	302	328
合計	回数	348	334	314	286	254	0	174
	参加児童数	11,746	12,724	11,018	10,302	8,964	0	4,470
	在籍児童数	5,463	5,372	5,293	5,196	5,145	5,023	4,979

## 13.出前講座 開催状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
回数	63	166	91	100	90	82	20	40

14.成人式 参加状況



15.市民文化祭 参加者状況（人）

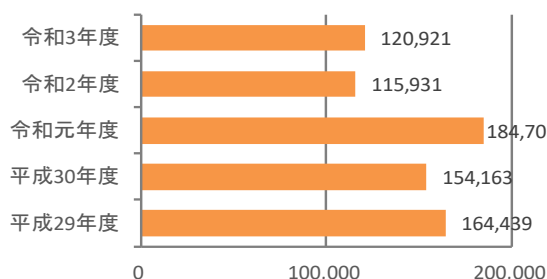
行 事 名	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
コーラスフェスティバル	500	500	450	中止	中止
市民美術工芸展	271	249	236	中止	167
箏・三絃・尺八演奏会	102	105	110	中止	中止
民謡大会	57	69	74	中止	57
謡曲大会	31	35	34	中止	中止
詩吟大会	157	113	162	中止	中止
ミュージック フェスティバル	132	145	148	中止	中止
茶華道大会	50	85	90	中止	67
川柳大会	113	101	98	中止	287
市民舞踏会	100	80	107	中止	65
郷土文化大会	—	—	—	50	37
芸能フェスティバル	212	127	280	中止	110
ダンスフェスティバル	105	182	153	中止	111



## 16. スポーツ施設利用状況

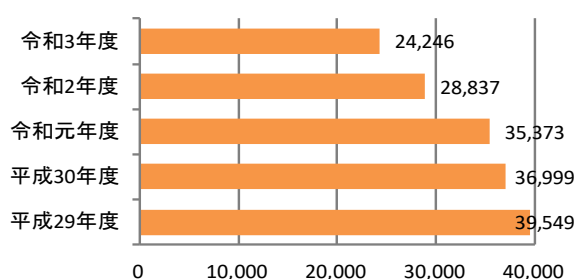
### 市民総合体育館

#### 利用人数



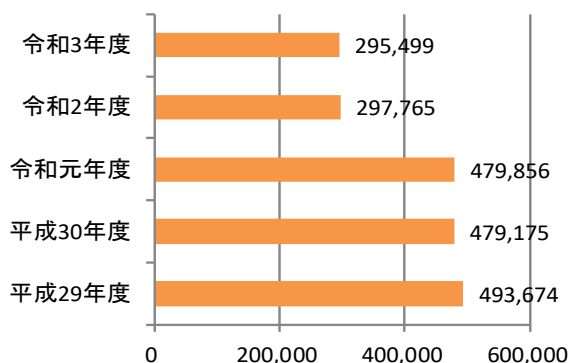
### 青少年スポーツホール

#### 利用人数



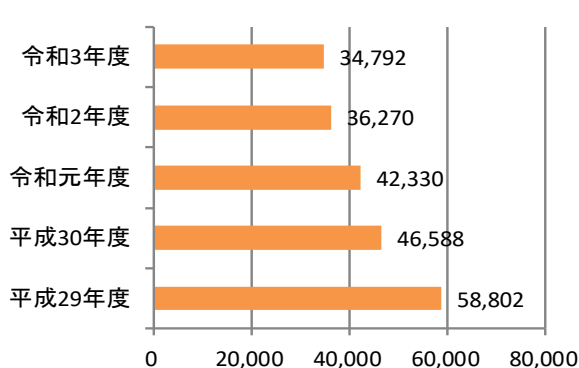
### グラウンド

#### 利用人数



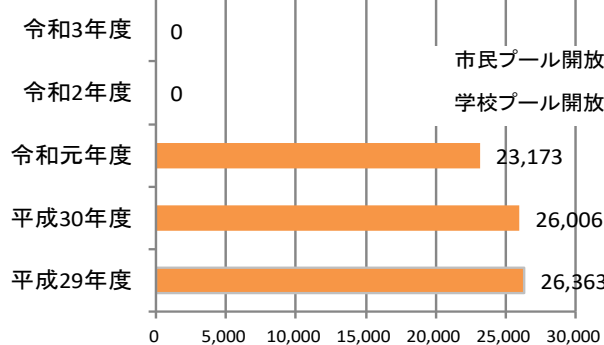
### テニスコート

#### 利用人数



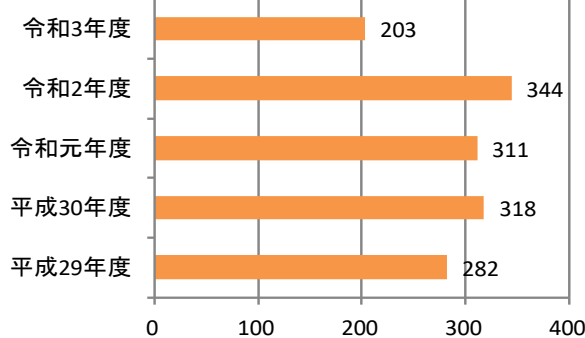
### 市営プール

#### 利用人数



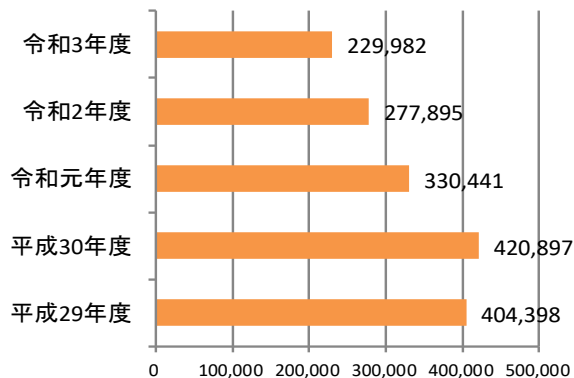
### 青少年教育キャンプ場

#### 利用人数



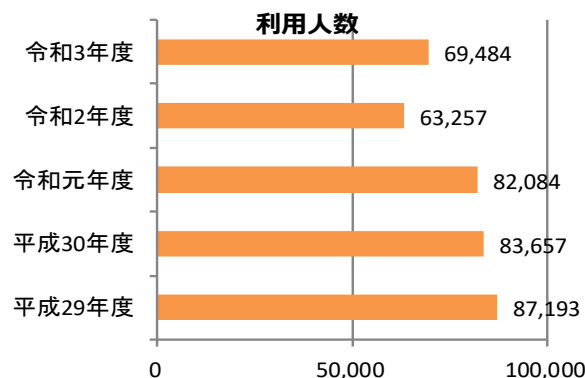
### 学校体育施設

#### 利用人数



### 総合スポーツ公園

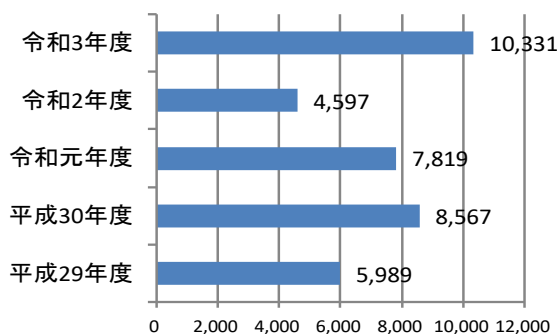
#### 利用人数



## 17. スポーツ事業参加状況

### スポーツ教室

#### 参加者数



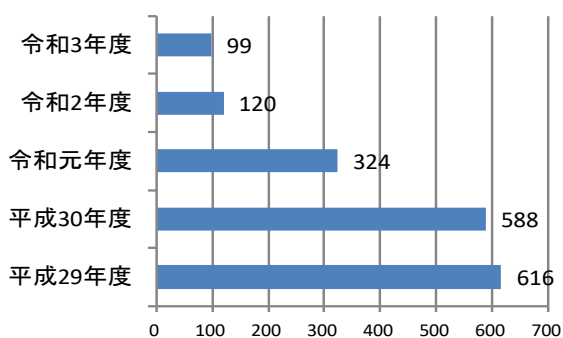
※注

スポーツ教室は、H26年度までは、前期（10回シリーズ）・後期（10回シリーズ）の実施で、申込者数の集計。

H27年度途中からは、各教室が通年開催（毎週1回開催）となったため延べ参加者数の集計。

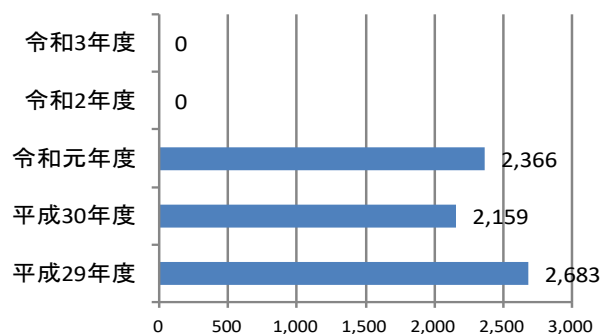
### ジュニア・スポーツリーダー・

#### スクール参加者数



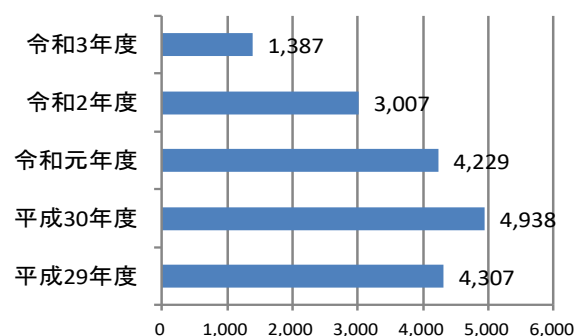
### ドリームフェスティバル

#### 参加者数



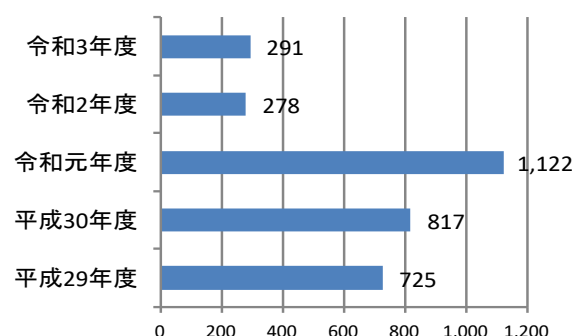
### 市民体育大会

#### 参加者数



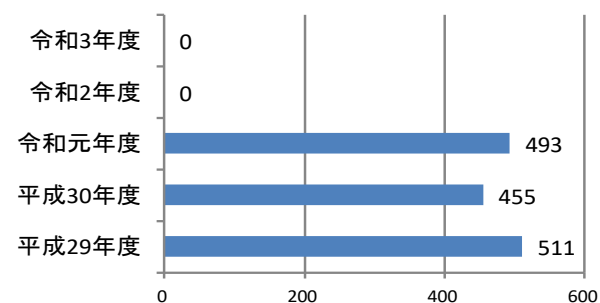
### スポーツ・レクリエーション祭

#### 参加者数



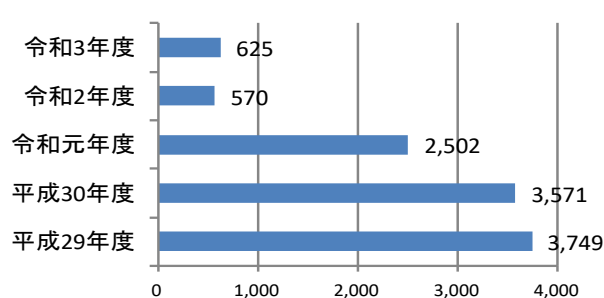
### 市民マラソン大会

#### 参加者数



### 夏休みラジオ体操教室

#### 参加者数



## 18. 富田林市内の文化財

【国指定（選定）文化財】

（令和4年3月31日現在）

種 類	種 別	名 称	指定年月日	所 在 地	備 考	
有形文化財	重要文化財	建 造 物	にしごおりじんじやほんでん 錦織神社本殿	昭25. 8.29	宮甲田町9-46	室町中期
			（錦織神社） せつしやかすがしやほんでん 撰社春日社本殿	昭44. 6.20	"	室町後期
			（錦織神社） せつしやてんじんしやほんでん 撰社天神社本殿			
		りゅうせんじ におうもん 龍泉寺仁王門	昭36. 3.23	大字龍泉888	鎌倉中期	
		きゅうすぎやまけじゅうたく 旧杉山家住宅	昭58.12.26	富田林町14-31	江戸前期	
美術工芸品	とんだばやしこうじょうじふついでんほんどう たいめんしよ しやうろう こ 富田林興正寺別院本堂・対面所・鐘樓・鼓					
	ろう さんもん おなりもん 樓・山門・御成門	平26. 9.18	富田林町13-18	江戸前期		
		つけたり ついじべい 3棟 附 築地塀				
		たきだにぶどうみょうおうち ちくぞうぶどうみょうおうち 瀧谷不動明王寺 木造不動明王	昭31. 6.28	大字彼方1762	平安中期	
		および どうじりつぞう 及二童子立像				
記念物	史跡名勝天然記念物（名勝）	りゅうせんじていせん 龍泉寺庭園	昭56. 5.11	大字龍泉888	7世紀中期	
	重要美術品（旧法）	せきぞうしゅうさんじゅうとう 石造十三重塔	昭10. 5.20	東板持町二丁目地内	鎌倉後期	
	史跡名勝天然記念物（史跡）	しんどうはいじあつげたり いげわらがまあと 新堂廃寺跡 附 オガンジ池瓦窯跡・ お亀石古墳	平14.12.19	緑ヶ丘町の一部 大字中野の一部	7世紀前期	
伝統的建造物群	(選定)重要伝統的建造物群保存地区	富田林市富田林 重要伝統的建造物群 保存地区	平 9.10.31 平30.8.17 (追加)	富田林町の一部 本町の一部	16世紀中期～	

【国登録有形文化財】

指 定 種 別	名 称	登録年月日	所 在 地	備 考
建 造 物	くずはらけじゅうたく みなみくすはら べつてい しゅおく そうご 葛原家住宅（南 葛原 別邸） 主屋・倉庫	平10. 4.21	常盤町	大正13年
	すぎたけじゅうたく しゅおく くら 杉田家住宅 主屋・蔵	平12.12. 4	本町	昭和4年
	なかうちがにかしいん 中内眼科医院	平13. 4.24	富田林町	大正13年頃
	とんだばやしりつかわにししりょうがっこう きょうういくれきしりょうしつ 富田林市立川西小学校 教育歴史資料室	平13.11.20	新家一丁目3-1	昭和10年
	いわけけじゅうたくしゅおく おくざしき さかぐら 右根家住宅 主屋・奥座敷・酒蔵	平20. 4.18	五軒家二丁目	江戸末期他
	みなみぐらにしくら ちゃしつ ちんや かんごべい 南蔵・西蔵・茶室・門屋・龍塀	平27. 11.17		
	とうかじゅうほんかん きょうしつどう 桃花塾本館・教室 棟	平21. 4.28	大字喜志2067-5他	昭和8年
	きゅうたななかけじゅうたくしゅおく いぬいぐら 旧田中家住宅 主屋・乾蔵	平25. 6.21	本町7-2	明治25年

【大阪府指定文化財】

指 定 種 別	名 称	指定年月日	所 在 地	備 考
彫 刻	りゅうせんじちくぞうこんごうりきしぞうにたい 龍泉寺木造金剛力士像二軀	昭49. 3.29	大字龍泉888	鎌倉
	りゅうせんじちくぞうしやうとくたいりつぞうほか 龍泉寺木造聖徳太子立像他	昭51. 3.31	"	南北朝
	じょうこくじせきぞうじぞうぼまつつぞう 浄谷寺石造地藏菩薩立像	昭45. 2.20	富田林町7-1 2	鎌倉
史 跡	にどりてい 水郡邸	昭48. 3.29	甲田二丁目	18世紀後期
	ひがしこうやかいどうにしごおりいちりづか 東高野街道錦織一里塚	昭45. 2.20	錦織東三丁目 7-1、他	17世紀初期
工 芸 品	たきだにぶどうみょうおうちこんどうほうしゅれい 瀧谷不動明王寺金銅宝珠鈴	昭56. 6. 1	大字彼方1762	平安後期
建 造 物	なかむらけじゅうたく 仲村家住宅	平 2. 3. 2	富田林町	江戸中期
有 形 民 俗	さいごくじゆんれい さんじゆさん どうぎょうじやかんけい しりょう 1 1 点 （富田林組）	平 7.12.13	富田林町7-1 2 (浄谷寺)	
	さいごくじゆんれい さんじゆさん どうぎょうじやかんけい しりょう 7 点 （嬉組）	平10. 2. 4	嬉 (嬉共有)	

【富田林市指定文化財】

指 定 種 別	名 称	指定年月日	所 在 地	備 考
有形文化財	歴史資料 とんだばやしじぬいまちえぎ しきいつかつ 富田林寺内町絵図 7 鋪一括 (第1号)	平31. 4.24	常盤町1-1	江戸中期他
有形文化財	考古資料 つづやまなみこふんしつといぶついつかつ 廿山南古墳出土遺物一括 (第2号)	令2.3.30	常盤町1-1	6世紀前半
有形文化財	書籍・典籍 なかむらけもんじよ つげたり しよせき ほんぎ いんかん うじこふだ しよぞうかんけい 仲村家文書 附 書籍、板木、印鑑、氏子札、酒造関係 等証書類 (第3号)	令2.3.30	常盤町1-1、富田林町	江戸～明治他

※所在地について、個人所有については町名のみ表示

## 19.公民館利用状況等

項 目		H28	H29	H30	R1	R2	R3
中央公民館	1 主催講座延べ開催数	179	180	160	155	129	136
	2 主催講座学習者数(人)	2,491	3,166	3,213	4,453	1,593	2,031
	3 イベントその他の事業延べ開催数	15	18	19	14	7	11
	4 公民館クラブ数	47	46	45	46	46	46
	5 公民館クラブ員数	859	803	779	749	730	744
	6 年間施設利用件数	2,437	2,398	2,290	2,089	1,661	1,633
	7 年間施設利用者数	34,487	32,284	33,773	25,922	17,567	18,128
	8 施設年間平均稼働率(%)	43	42	40	40	34	33
東公民館	1 主催講座延べ開催数	51	77	66	76	39	69
	2 主催講座学習者数(人)	844	1,030	1,012	1,102	456	866
	3 イベントその他の事業延べ開催数	9	9	9	11	4	5
	4 公民館クラブ数	36	35	36	33	31	29
	5 公民館クラブ員数	479	462	446	412	370	382
	6 年間施設利用件数	1,529	1,517	1,539	1,326	1,066	1,022
	7 年間施設利用者数	23,903	22,681	22,182	18,664	11,415	11,629
	8 施設年間平均稼働率(%)	31	35	35	36	31	29
金剛公民館	1 主催講座延べ開催数	54	75	60	64	94	67
	2 主催講座学習者数(人)	1,235	1,106	1,035	1,039	1,348	1,348
	3 イベントその他の事業延べ開催数	11	14	14	14	8	4
	4 公民館クラブ数	58	57	57	56	57	56
	5 公民館クラブ員数	923	924	890	881	890	811
	6 年間施設利用件数	2,818	2,856	2,865	2,581	1,963	2,019
	7 年間施設利用者数	38,862	38,896	42,168	37,999	21,922	23,476
	8 施設年間平均稼働率(%)	46	48	48	48	39	39

(稼働率 = 年間利用件数/年間利用可能区分)

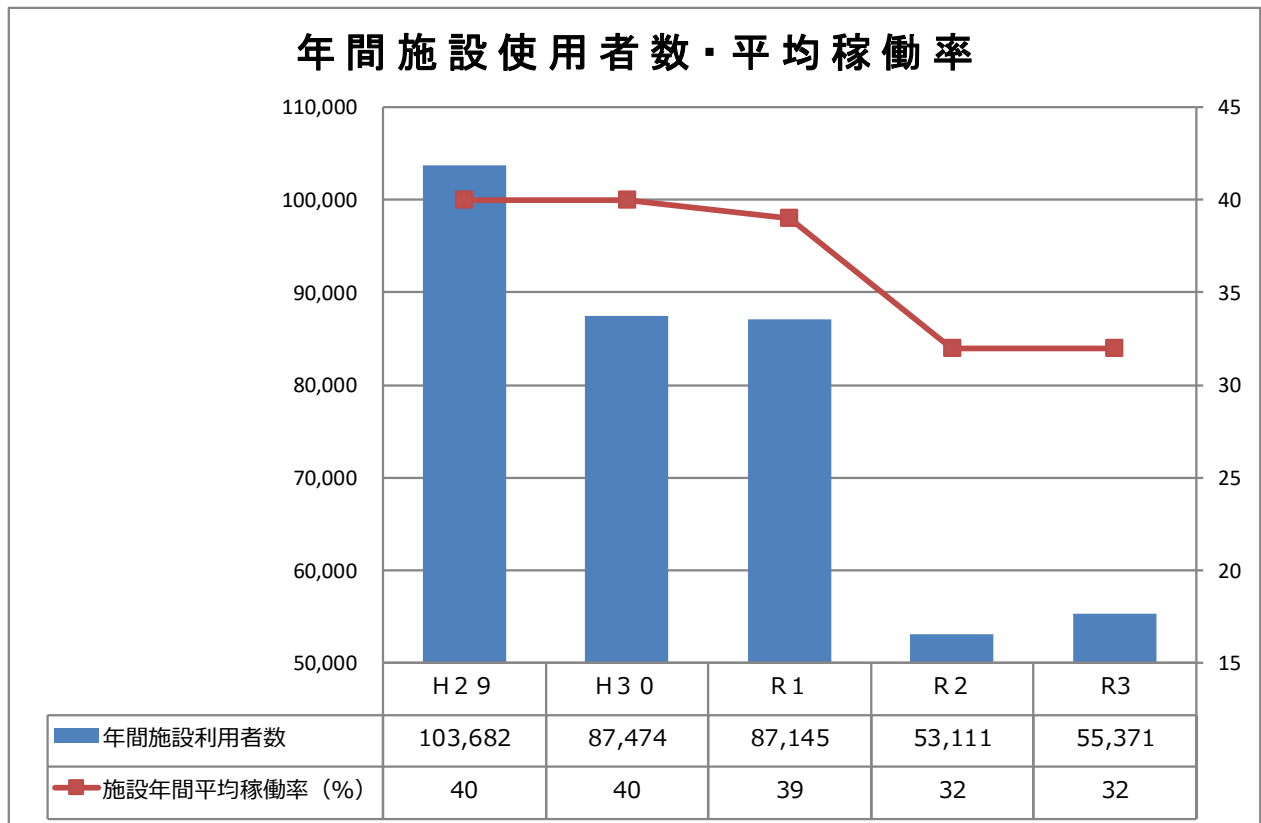
※利用区分 = 1日3区分、但し日曜日は2区分)

項 目		H28	H29	H30	R1	R2	R3	
喜 志 分 館	1	年間施設利用件数	566	549	490	475	320	325
	2	年間施設利用者数	5,967	5,559	4,889	4,560	2,207	2,138
	3	施設年間平均稼働率 (%)	24	22	20	21	15	15
総 合 計	1	主催講座延べ開催数	332	286	295	295	262	272
	2	主催講座学習者数 (人)	5,302	5,260	6,594	6,594	3,397	4,245
	3	イベントその他の事業延べ開催数	41	42	39	39	19	20
	4	公民館クラブ数	138	138	135	135	134	131
	5	公民館クラブ員数	2,189	2,115	2,042	2,042	1,990	1,937
	6	年間施設利用件数	7,337	7,243	6,486	6,471	5,010	4,999
	7	年間施設利用者数	99,828	103,682	87,474	87,145	53,111	55,371
	8	施設年間平均稼働率 (%)	41	40	40	39	32	32

(稼働率 = 年間利用件数 / 年間利用可能区分)

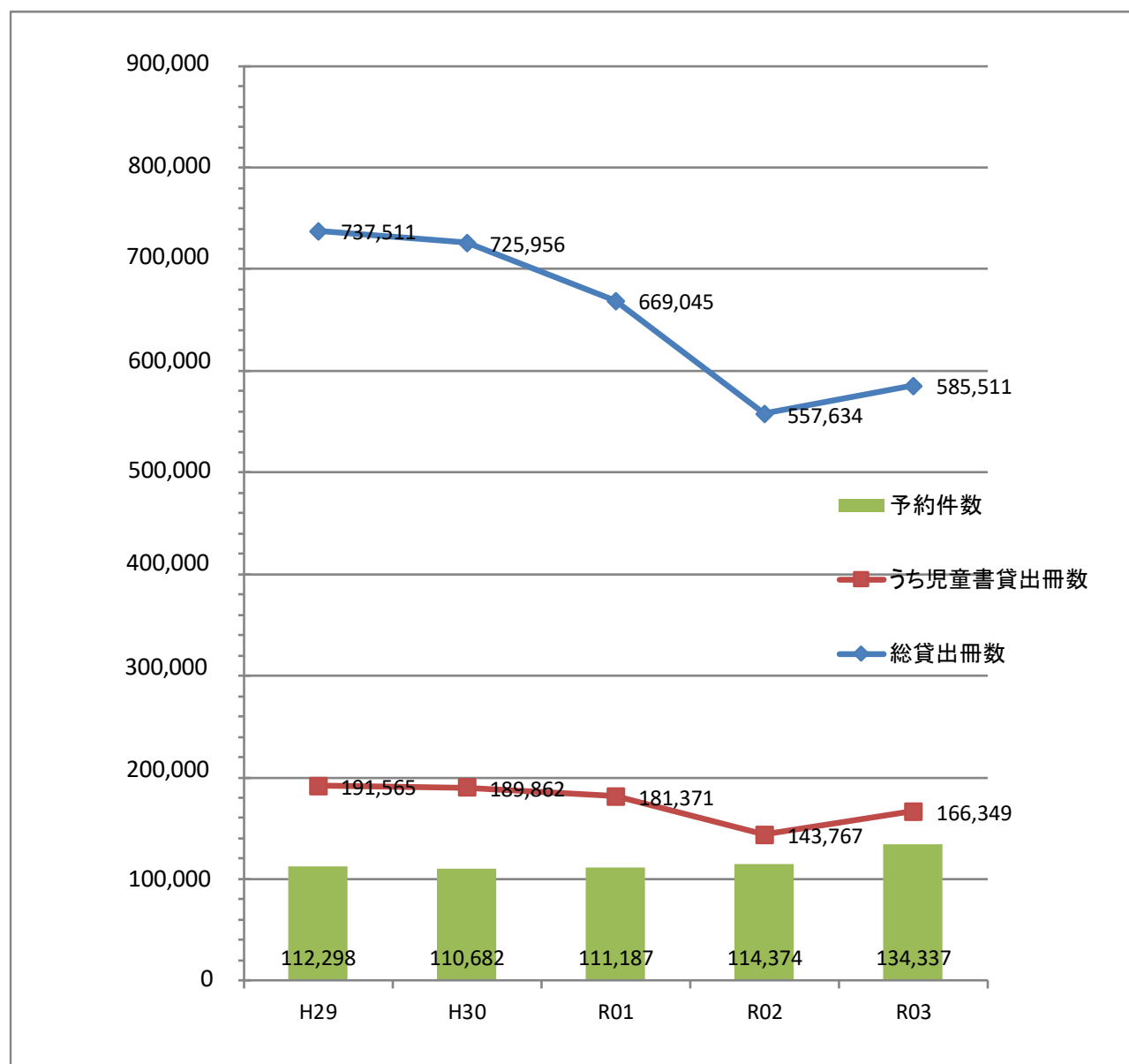
利用区分 = 1日3区分、但し日曜日は2区分)

※金剛ホールは平日4区分



## 20.図書館 利用状況

	総貸出人数	総貸出冊数	うち児童書貸出冊数	予約件数	録音図書等延貸出人数	ブックスタート配布絵本冊数
H29	220,828	737,511	191,565	112,298	181	715
H30	219,200	725,956	189,862	110,682	337	638
R01	204,244	669,045	181,371	111,187	376	618
R02	170,427	557,634	143,767	114,374	196	598
R03	180,013	585,511	166,349	134,337	0	516







SDGs 未来都市

富田林

ACT FOR 2030

発行 富田林市教育委員会

編集 教育総務部 教育総務課

〒584-8511 富田林市常盤町1番1号

電話 0721-25-1000

E-mail [kyouikusomu@city.tondabayashi.lg.jp](mailto:kyouikusomu@city.tondabayashi.lg.jp)